

2022年1月18日

## 新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査 の結果について ～がん患者の5人に1人が受療内容を変更～

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、一般社団法人 CSR プロジェクト（代表理事：桜井なおみ）による「新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査」に協賛し、この度、その調査結果がまとまりましたので以下のとおりお知らせします。なお、調査結果の詳細は別紙をご参照ください。

### 新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査の結果について

#### 1. 調査概要

- 【名称】 新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼしたがん患者への影響調査
- 【対象】 診断時および調査時において、収入を伴う仕事をしていた、診断から5年以内のがん患者310人  
※男女比は男性71.6%（平均年齢59.7歳）、女性28.4%（49.0歳）  
※平均年収400万円以上、400万円未満の2つのグループに分けて収集を行った
- 【期間】 2021年11月12日～15日
- 【方法】 WEB調査

#### 2. 結果概要

新型コロナウイルス感染症拡大が、がん患者の治療および生活に及ぼした影響について、以下の4つのポイントが明らかとなりました。

##### 【ポイント1】 がん患者の5人に1人が受療内容を変更

受療内容やスケジュールが変更されたがん患者は、2020年調査の8人に1人から5人に1人に増加。治療変更の判断は、「患者の自己判断」から「医師・医療機関による判断」へと変化し、関連学会が示す診療トリアージが機能したと考えられる。

##### 【ポイント2】 新型コロナウイルス感染症に係る主な情報源は、テレビやラジオ、インターネット

2020年調査に引き続き新型コロナウイルス感染症に係る情報源は、テレビやラジオ、インターネットが主である。情報選択は患者自身に委ねられており、患者が科学的根拠に基づいた、正しい情報にたどりつくための道筋を作ることが重要である。

##### 【ポイント3】 緊急事態宣言期間中も約6割が通常勤務を継続

緊急事態宣言期間中も、約6割の人が通常勤務を継続しており、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながらの新しい生活へ移行した。一方で長引く自粛生活は、直接的な感染不安から孤立感や経済など生活不安へと変わってきている。

#### 【ポイント4】新型コロナワクチンの基礎疾患枠での優先接種は約3割

がん患者のうち基礎疾患枠で新型コロナワクチンの優先接種ができたのは、約3割にとどまった。基礎疾患に関する定義のあいまいさや自治体ごとの対応の違い、急性期医療を中心とするがん治療など、特に若いがん患者への接種の遅れが課題である。

本結果について、国立がん研究センター・がん対策研究所 事業統括 若尾文彦先生から、以下のとおりコメントを頂きました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大のがん患者の治療などへの影響を確認できる貴重な調査である。まず、治療の内容や予定の変更をした患者が20%で、その中には、外来の変更(43%)、検査の変更(36%)だけでなく、薬物療法の変更(16%~20%)、手術の変更(18%)なども含まれており、がん医療に大きな影響を与えたと考える。変更の理由では、医療機関の判断による変更が77%であり、2020年の調査時の58%に比べ改善されているが、自分の判断や家族・友人からの助言に基づいている患者がそれぞれ16%、7%いること、治療中の患者では、自分の判断などが4割強に増えていることから、受診や受療については自己判断をしないで必ず医療機関へ相談することを実践していただきたいと考える。

また、感染拡大中に自身や家族の感染や経済的な変化などの生活面の不安を感じている患者は63%であった。感染の不安を軽減するためには、正確な情報に基づく適切な対処が重要であると考え、予防対策の情報源としては、政府・自治体など公的機関のものを利用している人が45%であった。公的機関の情報をメディア、インターネット、SNSなどから得ている場合が測れていない可能性を含めても、まだ、不十分と考える。公的機関の情報発信をさらに強化して届きやすくするとともに、がん患者を含む国民の皆さまには、信頼できるもの、活用すべきものであると理解し、まず、活用していただきたいと考える。

当社は、「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を目指し、最も長くがんと向き合い、最も多くのがんと闘う方々を応援してきた生命保険会社として、これからもがんに関わる幅広い社会的課題の解決に取り組みながら、すべてのステークホルダーから信頼される会社であり続けるよう努めていきます。

**新型コロナウイルス感染症拡大が及ぼした  
がん患者への影響調査（第2回）  
結果報告書**

**2022年1月18日プレスリリース**

**一般社団法人CSRプロジェクト**



**協賛：アフラック**

# 目次

■ 調査結果の目的など概要	3
■ 総括	5
■ 結果報告書	13

# 調査結果の目的など概要

## 1. 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの生活、働き方へ大きな変化を及ぼしている。また、今夏の第5波を引き起こしたオーバーシュートによる医療崩壊が起こり、コロナ病床のひっ迫、それによる受療困難者の増加が在宅医療にも影響を及ぼすなど憂慮すべき状況が続いた。新型コロナウイルス感染症の発生から1年半が過ぎ、知識や経験を得て感染予防対策や新型コロナワクチンの接種についても進められてきたが、その過程においては昨年同様、社会、精神、身体へ及ぼされた大きな影響が課題として考えられる。

そこで当団体では、新型コロナウイルス感染症拡大が、がん患者の治療、並びに生活に及ぼした影響について、①非常事態宣言の解除前と解除後、さらには、②新年度を迎え、第5波そしてワクチン接種と進んだ（2022年）2地点において調査を実施、その動向や意識の変化を把握する。

## 2. 調査対象

- ・診断時および現在において、収入を伴う仕事をしていた、診断から5年以内のがん患者310人
- ・平均年収400万円以上、400万円未満の2つのグループに分けて収集を行った。

## 3. 調査時期

- ・第一回：2020年10月12日～13日、第二回：2021年11月12日～15日
- ・調査方法：疾患パネルを用いたweb調査
- ・調査主体：一般社団法人CSRプロジェクト、・協賛：アフラック生命保険株式会社

## 4. 主な調査内容

- 診療状況の変化
- 情報の入手先
- 就労状況、時間、収入の変化
- コロナ禍での生活面、仕事面におけるストレス
- ワクチン接種の状況

## 5. 回答者の特性

- ・男女比は男性71.6%（平均年齢59.7歳）、女性28.4%（49.0歳）、平均年齢は56.7歳。未婚31.0%、既婚69.0%
- ・居住地は関東地方38.1%、近畿地方17.1%、中部地方14.8.0%、九州地方10.3%、中国地方7.1%、北海道5.8%など。
- ・罹患部位は前立腺14.8%、大腸14.2%、乳房13.2%、胃9.7%、肺7.7%、子宮・卵巣6.8%、肝胆膵6.5%、その他（甲状腺・膀胱・精巣など）。病期は0期（11.0%）、1期（31.9%）、2期（23.9%）、3期（17.4%）、4期（7.1%）。
- ・治療実施状況は、経過観察（62.6%）、入院・手術（34.5%）、手術に向けた検査（21.9%）、抗がん剤治療（24.5%）、放射線治療中（11.6%）、ホルモン療法中（17.1%）。

### 【提言】

- ・新型コロナウイルス感染症、並びに、リスクに対する正しい知識の普及と対策の強化
- ・科学的根拠が確かな情報源、情報間に対する患者への情報伝達の道筋づくり
- ・基礎疾患のひとつであるがんに対し、国からの優先接種となるがん患者の定義を明瞭化。

### ● 国立がん研究センター・がん対策研究所 事業統括 若尾文彦先生からのコメント

新型コロナウイルス感染症感染拡大のがん患者の治療などへの影響を確認できる貴重な調査である。まず、治療の内容や予定の変更をした患者が20%で、その中には、外来の変更（43%）、検査の変更（36%）だけでなく、薬物療法の変更（16%～20%）、手術の変更（18%）なども含まれており、がん医療に大きな影響を与えたと考える。変更の理由では、医療機関の判断による変更が77%であり、2020年の調査時の58%に比べ改善されているが、自分の判断や家族・友人からの助言に基づいている患者がそれぞれ16%、7%いること、治療中の患者では、自分の判断などが4割強に増えていることから、受診や受療については自己判断をしないで必ず医療機関へ相談することを実践していただきたいと考える。

また、感染拡大中に自身や家族の感染や経済的な変化などの生活面の不安を感じている患者は63%であった。感染の不安を軽減するためには、正確な情報に基づく適切な対処が重要であると考え、予防対策の情報源としては、政府・自治体など公的機関のものを利用している人が45%であった。公的機関の情報をメディア、インターネット、SNSなどから得ている場合が測れていない可能性を含めても、まだ、不十分と考える。公的機関の情報発信をさらに強化して届きやすくするとともに、がん患者を含む国民の皆さまには、信頼できるもの、活用すべきものであると理解し、まず、活用していただきたいと考える。

# 総括

# 総 括

**長引くコロナ禍で、がん患者の5人に1人が受療内容を変更。ワクチン追加接種の前倒しなど、感染拡大防止と保健・医療提供体制の確保が急務。**

- ① 長引くコロナ禍で受療内容やスケジュールが変更されたがん患者は、昨年度調査の8人に1人から5人に1人に増加。治療変更の判断は、昨年の調査結果にみられた「患者の自己判断による受療変更」から「医師・医療機関の判断による受療内容の変更」へと変化し、関連学会が示す診療トリアージが機能したと考えられる。(Q5、6、7)
- ② 新型コロナウイルス感染症に係る主な情報源は、テレビやラジオ、インターネットとなっている。現状、様々な情報が玉石混交で各所に点在し、情報選択は患者自身に委ねられている。患者が科学的根拠に基づいた、正しい情報にたどりつくための道筋を作ることが重要である。(Q9)
- ③ 緊急事態宣言期間中も約6割が通常勤務を継続。新型コロナウイルス感染症を前提とした新しい生活へ移行した。一方で長引く自粛生活は、直接的な感染不安から孤立感や経済など生活不安へと変わってきている。(Q11、15、16)
- ④ がん患者のうち基礎疾患枠でワクチンの優先接種ができたのは約3割にとどまった。基礎疾患に関する定義のあいまいさや自治体ごとの対応の違い、急性期医療を中心とするがん治療など、特に若いがん患者への接種の遅れが課題である。(Q17、18、19)



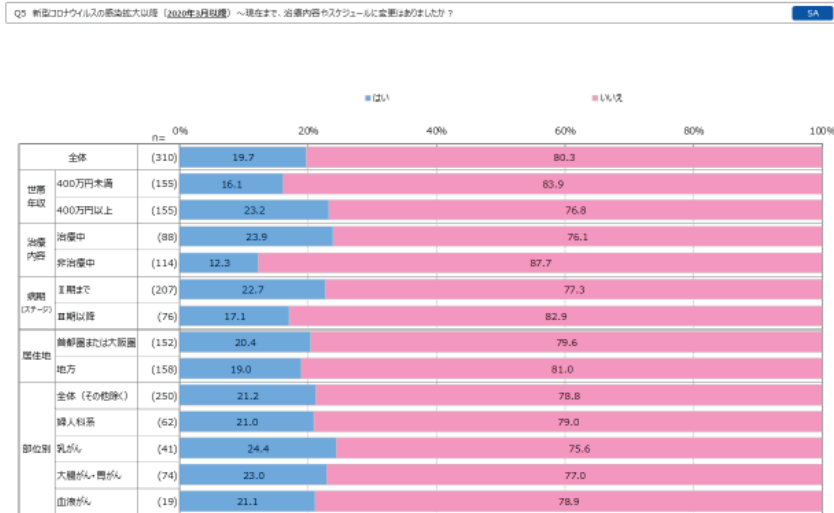
# 調査結果からみえるがん患者像①

●長引くコロナ禍で受療内容やスケジュールが変更されたがん患者は、昨年度調査の8人に1人から5人に1人に増加。治療変更の判断は、昨年の調査結果にみられた「患者の自己判断による受療変更」から「医師・医療機関の判断による受療内容の変更」へと変化し、関連学会が示す診療トリアージが機能したと考えられる。(Q5、6、7)

- 前回調査では、治療内容やスケジュールの変更について医療機関や医師の判断が57.5%、自己判断が37.5%であったのに対し、今回調査では医療機関や医師が77.0%、自己判断が19.7%となった。昨年に比べ医師や医療機関の判断が約20%増加し、自己判断は約20%減少している。昨年の第1波では感染リスクへの不安から、心理的に自己防御が働いたと思われる。1年半以上続くコロナ禍を経て、院内トリアージが機能し、また患者側も冷静な判断と正しい情報による行動に結びついたと考えられる。
- 自己判断で治療の変更を行った理由については、前回調査では院内感染への不安が最も多かったが、今回は通院時の感染リスクと感染者との濃厚接触の理由で全体の8割になっている。第5波による感染拡大など、新型コロナウイルス感染症への感染リスクが身近に迫っていた緊張感が伺える。
- 治療スケジュールの変更については、外来や検査のキャンセル、延期が約4割となり高い割合となっており、薬物療法全般のキャンセルや延期、変更などと同様昨年比約2倍となった。また、昨年は見られなかった外科手術などのキャンセル、延期、HBOC予防的手術のキャンセル、延期、緩和ケア病棟のキャンセル、延期などにも影響が出てきていることが分かる。新型コロナウイルス感染症の影響により薬剤供給が不安定になったことや、第5波等の感染拡大時の措置である「不急の手術延期」などの影響が出ているものと思われる。

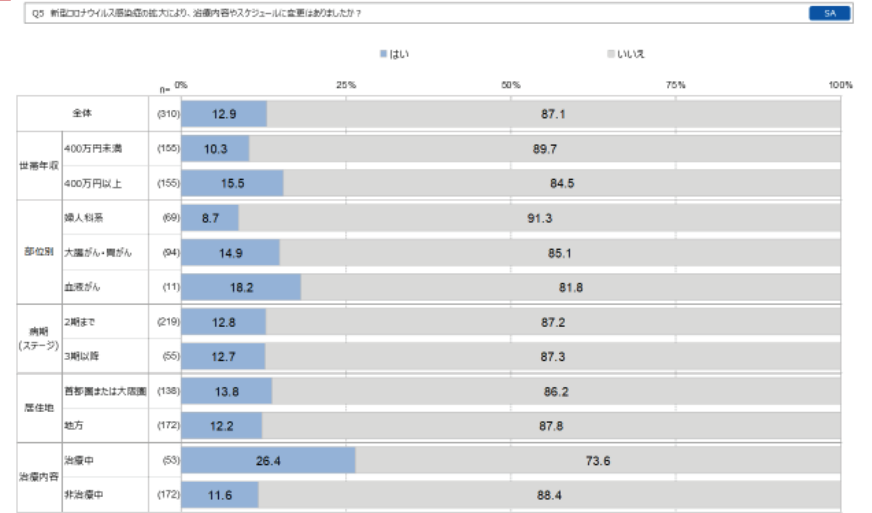
## 2021年度調査

### 5 コロナウイルスによる治療内容やスケジュールの変更



## 2020年度調査

### 5 新型コロナウイルス感染症拡大による治療内容やスケジュールの変更



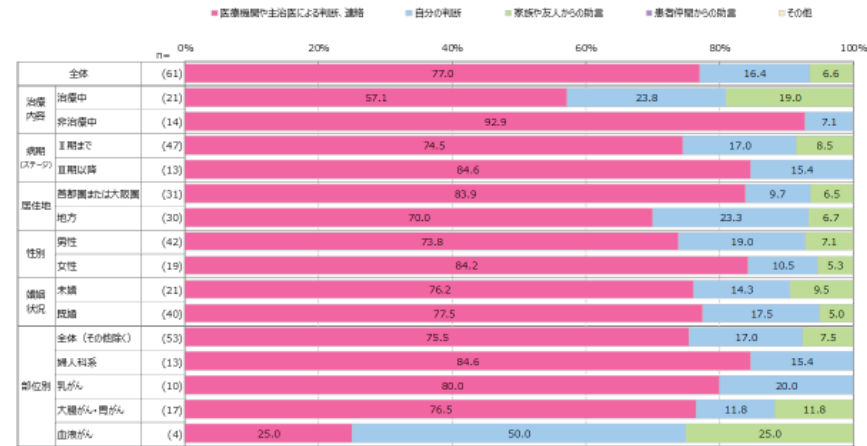
## 2021年度調査

### 6 変更をした主判断者

Q6 変更があったと回答された方にお聞きします。その主たる判断者は誰が行いましたか？

SA

※治療内容・スケジュール変更者ベース



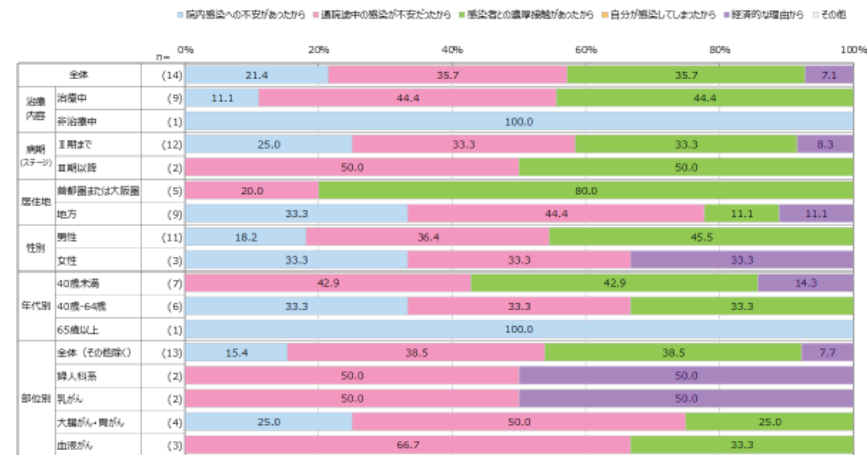
## 2021年度調査

### 7 自分や周囲の意見で変更を判断した理由

Q7 自分や周囲の意見で変更を判断したと回答された方にお聞きします。その1番目の理由は何ですか？

SA

※医療機関・主治医以外で判断した人ベース



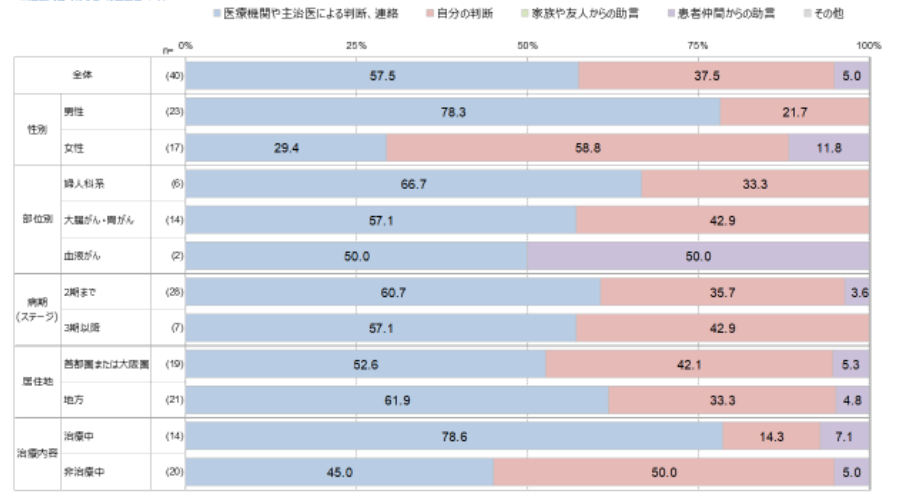
## 2020年度調査

### 6 変更をした主判断者

Q6 変更があったと回答された方にお聞きします。その主たる判断者は誰が行いましたか？

SA

※治療内容・スケジュール変更者ベース



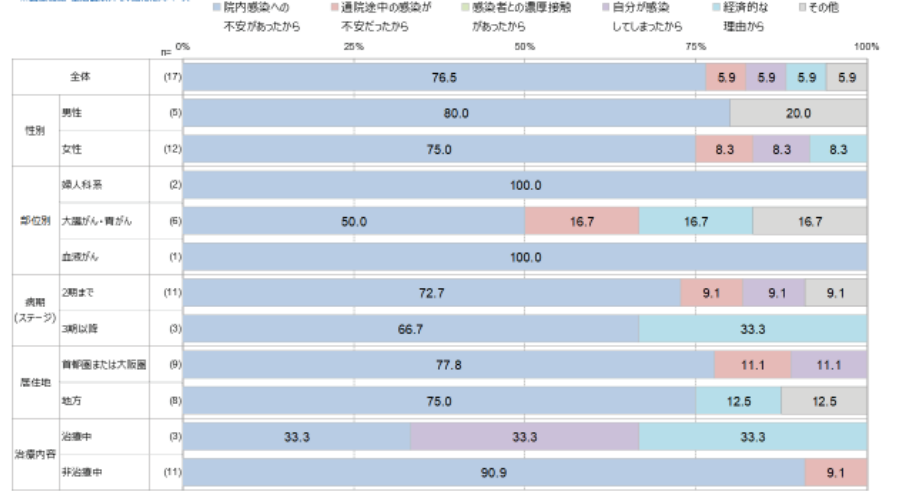
## 2020年度調査

### 7 自分や周囲の意見で変更を判断した理由

Q7 自分や周囲の意見で変更を判断したと回答された方にお聞きします。その1番目の理由は何ですか？

SA

※医療機関・主治医以外で判断した人ベース



# 調査結果からみえるがん患者像②

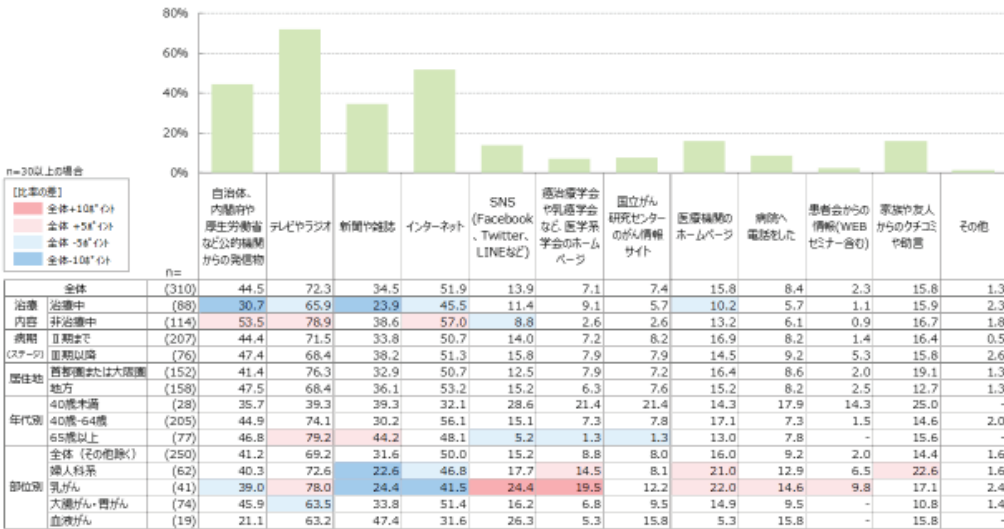
● 新型コロナウイルス感染症に係る主な情報源は、テレビやラジオ、インターネットとなっている。現状、様々な情報が玉石混交で各所に点在し、情報選択は患者自身に委ねられている。患者が科学的根拠に基づいた、正しい情報にたどりつくための道筋を作ることが重要である。(Q9)

- 新型コロナウイルス感染症拡大に係る情報入手源の第一位はテレビやラジオ72.3%、第二位がインターネット51.9%、第三位が自治体・内閣府など公的機関の情報44.5%となっている。昨年と比べても、情報源に大きな変化は無いと言える。
- 幅広い世代への情報伝達のため、SNS等を通じた公的機関からの情報発信もさかんになってきている。
- 年代別に情報源を見ると、40歳未満では様々な媒体を情報源としていることが分かる。

## 2021年度調査

### 9-1 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源

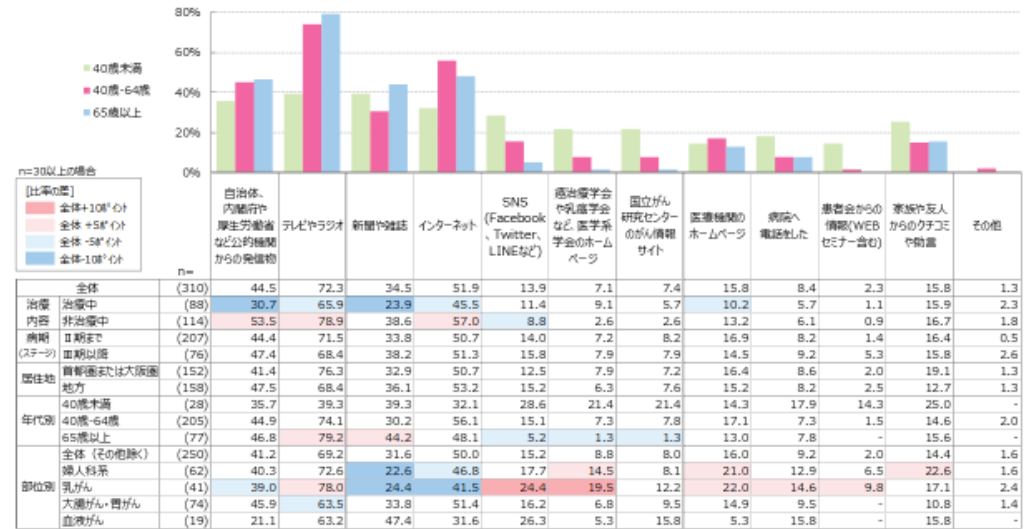
Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？



## 2021年度調査

### 9-2 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？



# 調査結果からみえるがん患者像③

● **緊急事態宣言期間中も約6割が通常勤務を継続。新型コロナウイルス感染症を前提とした新しい生活へ移行した。一方で長引く自粛生活は、直接的な感染不安から孤立感や経済など生活不安へと変わってきている。(Q11、15、16)**

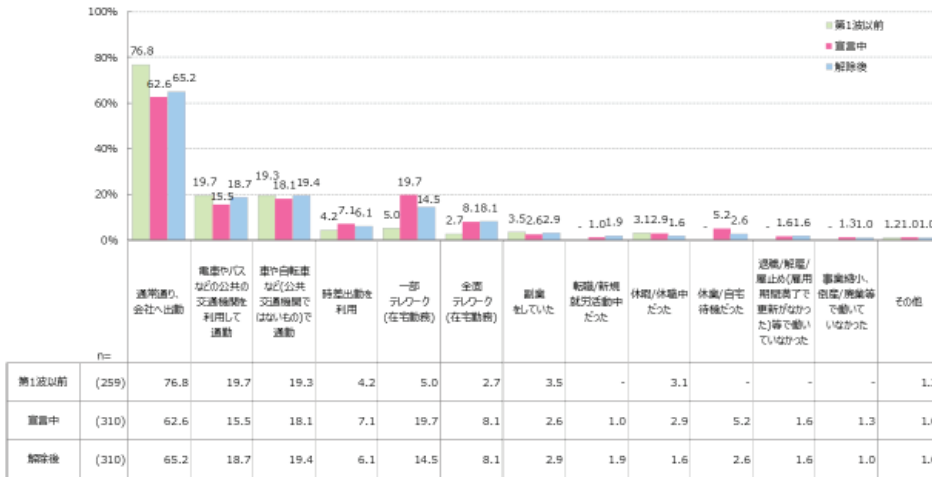
- 前回調査では、第1回目の緊急事態宣言（2020年4月）で通常通りの出勤が約5割（半分）まで下がっていたが、今回調査では緊急事態宣言中であっても約6割が通常通りの勤務を継続していた。長引くコロナ禍で、感染予防対策を行ながらの新型コロナウイルス感染症との共存、ニューノーマルライフが生まれてきた表れとも言える。緊急事態宣言中の働き方の変更としては、一部在宅勤務18.7%、全面テレワーク8.1%、時差出勤をした7.1%となっている。
- 緊急事態宣言が出されている間、生活面・仕事面でのストレスについていずれも約6割が「とても強く感じた・やや感じた」、約2割が「あまり感じない・全く感じない」と回答した。生活面でのストレスは、第一位が「自分が感染するのではないか」、次いで「今後の経済的な不安」、「家族が感染するのではないか」となった。また、仕事面でのストレスは、第一位が「通勤時、移動時の感染リスク」、次いで「仕事をしながら感染リスクを感じる」、「仕事上のコミュニケーションの取りづらさ」となった。長引く新型コロナウイルス感染症によるストレスは、感染リスクの他、経済的な不安やコミュニケーションなどの面にも影響を及ぼしたことが分かる。

## 2021年度調査

### 11-4 第1波以前／緊急事態宣言中／解除後の働き方

Q11 新型コロナウイルスの第1波以前（2020年2月）と既読（2020年3月～現在）のそれぞれの期間で、あなたの働き方に該当するものをお選びください。（1つでも）

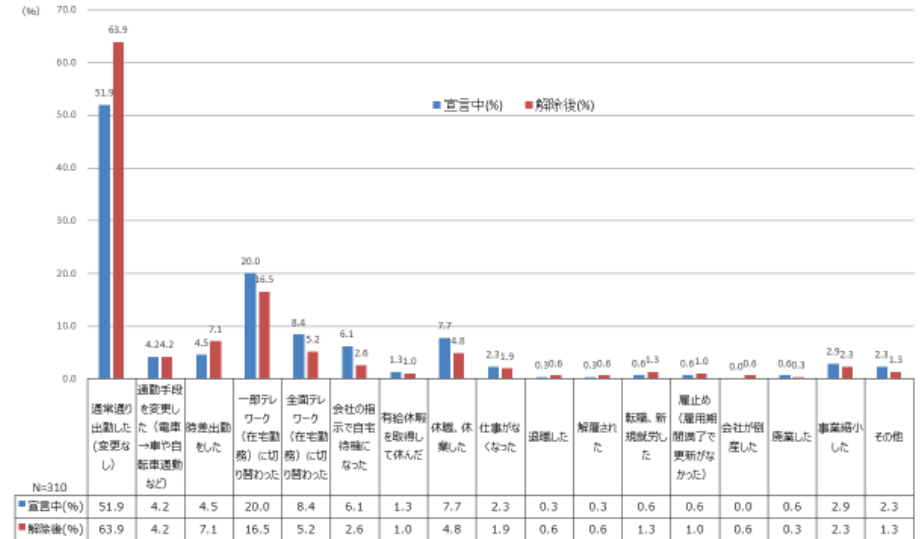
※第1波以前にデータはがん罹患時期がコロナ前の人ベース



## 2020年度調査

### 10-② 緊急事態宣言中の働き方【働き方】%比較

Q10 お仕事をされている方にお聞きします。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されている期間（2020年4月7日～5月25日）、あなたの働き方はどうなりましたか？該当するものをお選びください。



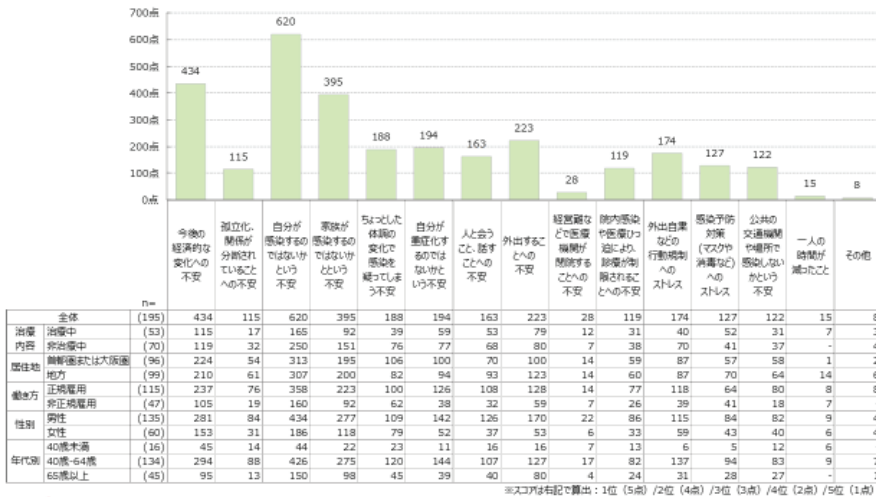
# 生活面 (2021年度調査)

## 15 不安に感じたこと

Q15 Q14の生活面において不安やストレスを感じた点に回答した方にお聞きします。どのような不安やストレスを感じましたか？【1位~5位~計】

RANK

※生活面においてストレスを感じた人ベース



※スコアは右記で算出：1位 (5点) /2位 (4点) /3位 (3点) /4位 (2点) /5位 (1点)

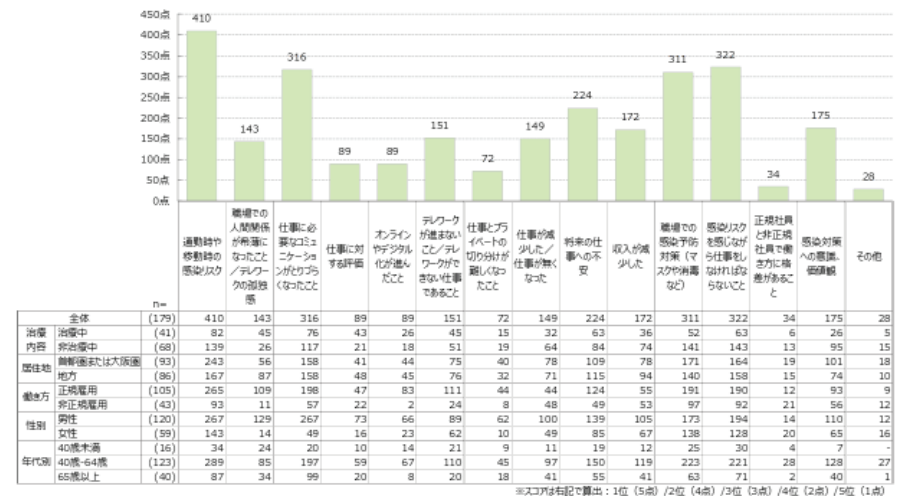
# 仕事面 (2021年度調査)

## 16 不安に感じたこと

Q16 Q14の仕事の面において不安やストレスを感じた点に回答した方にお聞きします。どのような不安やストレスを感じましたか？【1位~5位~計】

RANK

※仕事の面においてストレスを感じた人ベース



※スコアは右記で算出：1位 (5点) /2位 (4点) /3位 (3点) /4位 (2点) /5位 (1点)

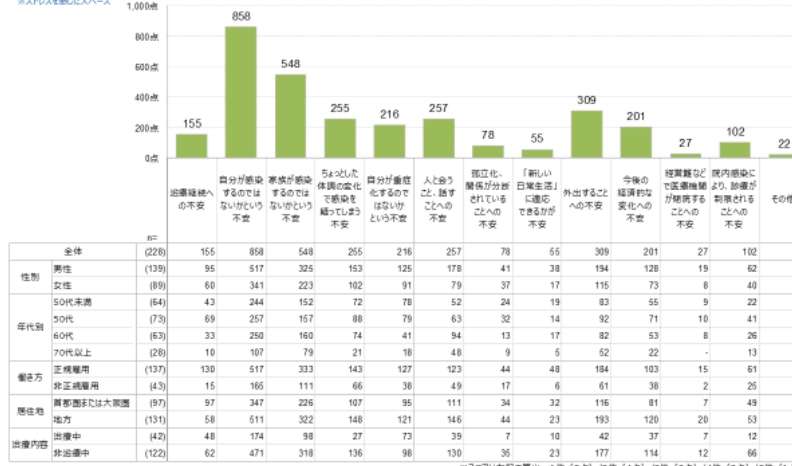
# 2020年度調査

## 15 不安に感じたこと

Q15 ストレスを感じた点に回答した方にお聞きします。どのような不安やストレスを感じましたか？【上位から7つまでお選びください】

RANK

※ストレスを感じた人ベース



※スコアは右記で算出：1位 (5点) /2位 (4点) /3位 (3点) /4位 (2点) /5位 (1点)

# 調査結果からみえるがん患者像④

●がん患者のうち基礎疾患枠でワクチンの優先接種ができたのは約3割にとどまった。基礎疾患に関する定義のあいまいさや自治体ごとの対応の違い、急性期医療を中心とするがん治療など、特に若いがん患者への接種の遅れが課題である。(Q17、18、19)

- ・約9割のがん患者が2回の新型コロナワクチン接種を終了していた。65歳以上では98.7%、40歳～64歳は89.3%、40歳未満では60.7%となった。若い患者への接種の遅れが課題と言える。
- ・全体の約7割が自治体の集団接種を利用、約15%が職域接種となった。首都圏または大阪圏では約1割が国主催の大規模接種会場で接種していた。接種率の低かった40歳未満では、がんセンターでの集団接種が16.7%と他の年代よりも多かった。
- ・国が定める基礎疾患枠の定義では、がんについて明確に記載されておらず、主治医の判断に委ねられていたものと思われる。治療中のがん患者の場合、かかりつけ医はがん治療医となるため、自治体ごとに行われるワクチン接種との連携が困難であったと懸念される。

## 17 新型コロナウイルスのワクチン接種

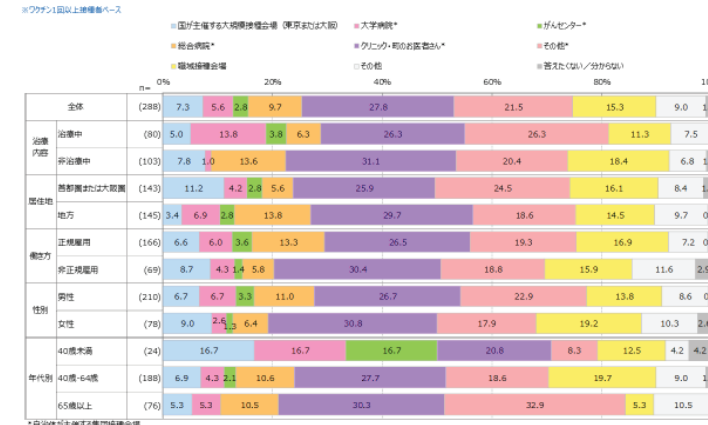
Q17 新型コロナウイルスのワクチン接種は完了しましたか？



ESR Project © Corporate Social Responsibility for Cancer Survivors Recruiting

## 18-1 ワクチン接種場所(1回目)

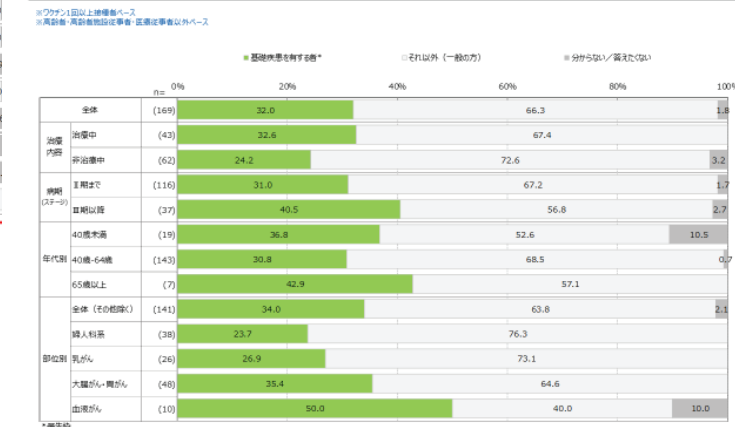
Q18 新型コロナウイルスのワクチン接種を行った場所はどこですか？



ESR Project © Corporate Social Responsibility for Cancer Survivors Recruiting

## 19-2 ワクチン接種時の対象種別

Q19 Q17で、1回接種、1回接種以上済みにした方にのみお答えください。新型コロナウイルスのワクチン接種はどのような対象種別で行いましたか？



ESR Project © Corporate Social Responsibility for Cancer Survivors Recruiting

# Covid19\_がん患者に関する調査（第2回） 結果報告書

2022年1月18日



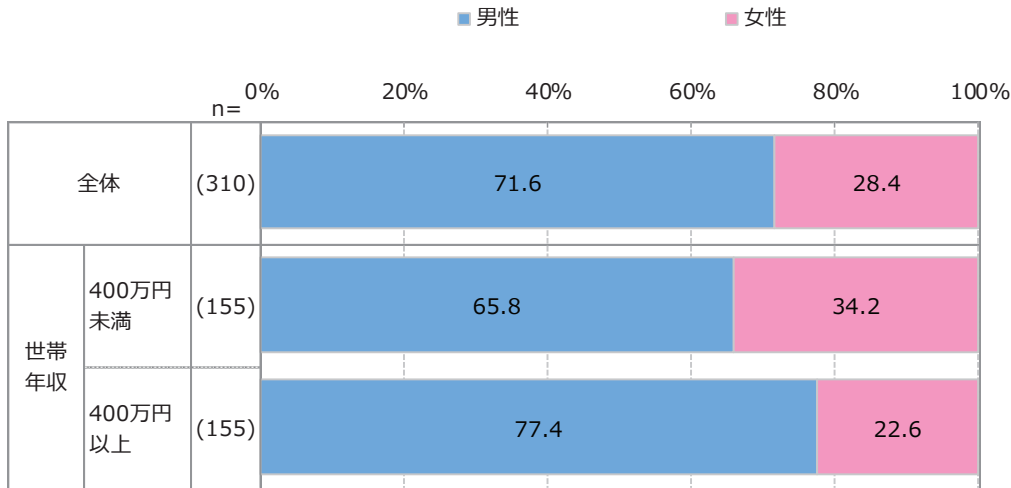
# 目次

■回答者プロフィール	15
■事前調査結果	18
■本調査結果	23

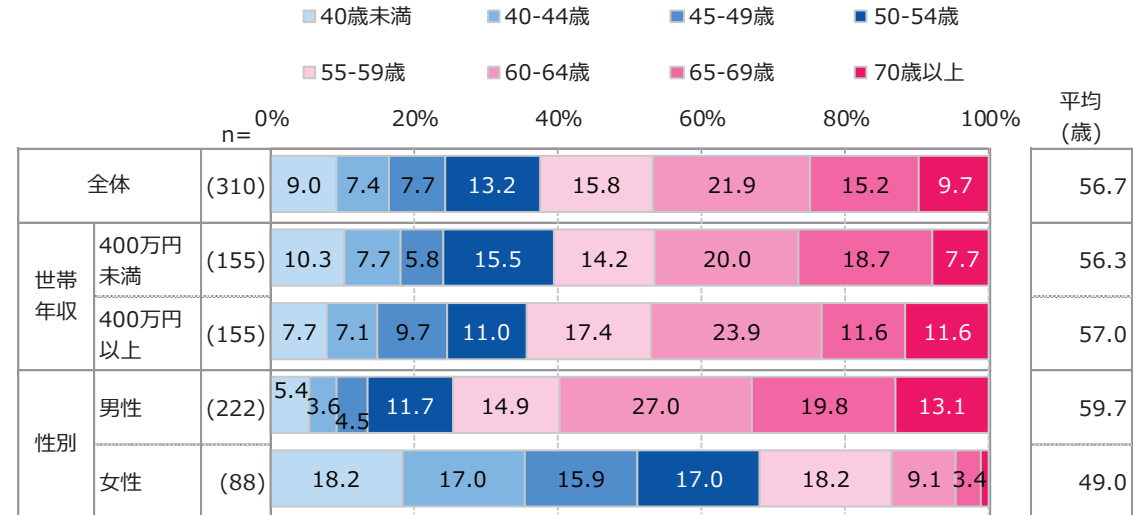


# 回答者プロフィール n=310

## 性別

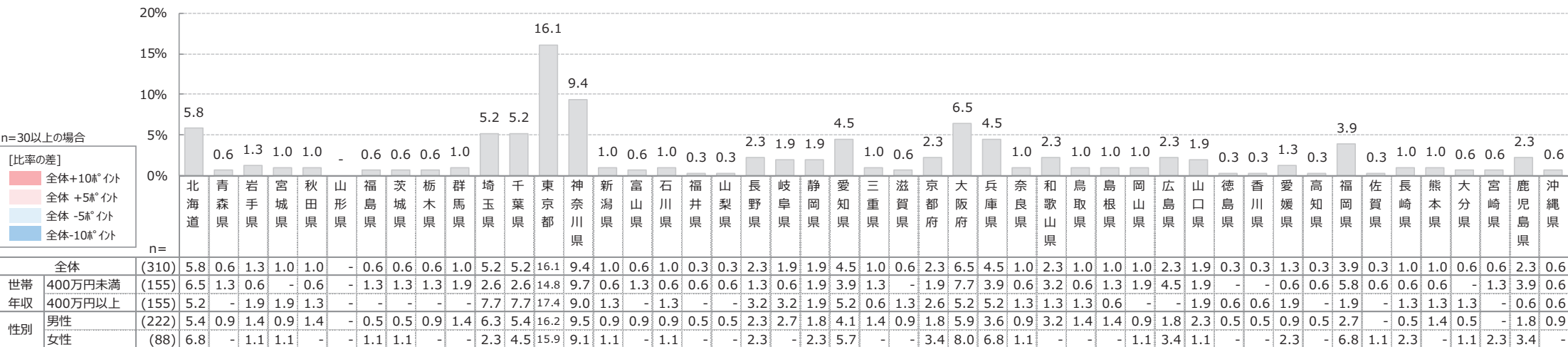


## 年齢



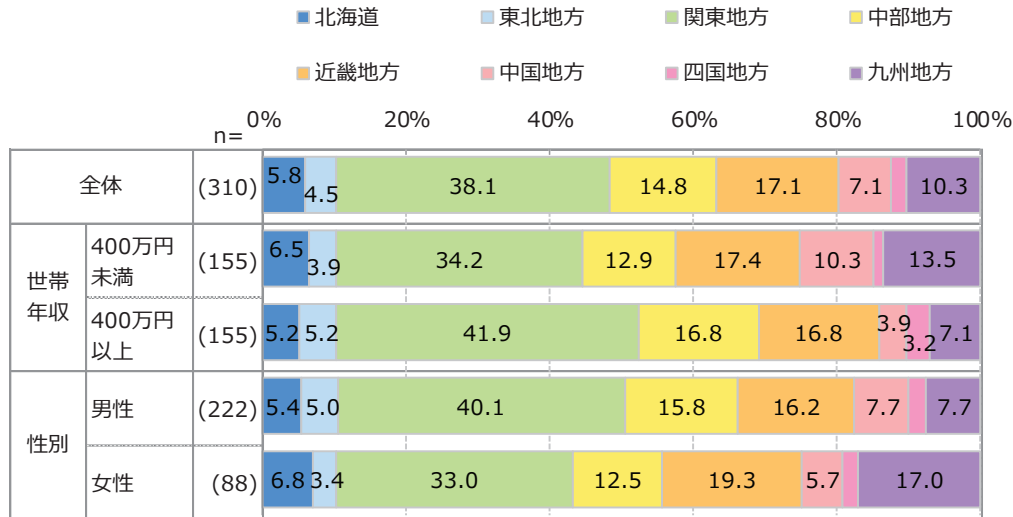
※2.0%未満のスコアは非表示

## 都道府県



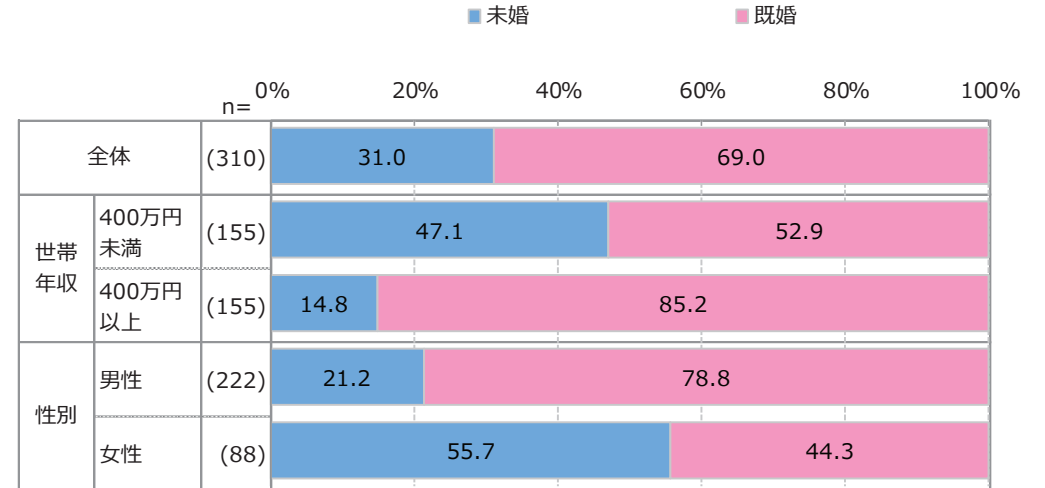
# 回答者プロフィール n=310

## 居住地域

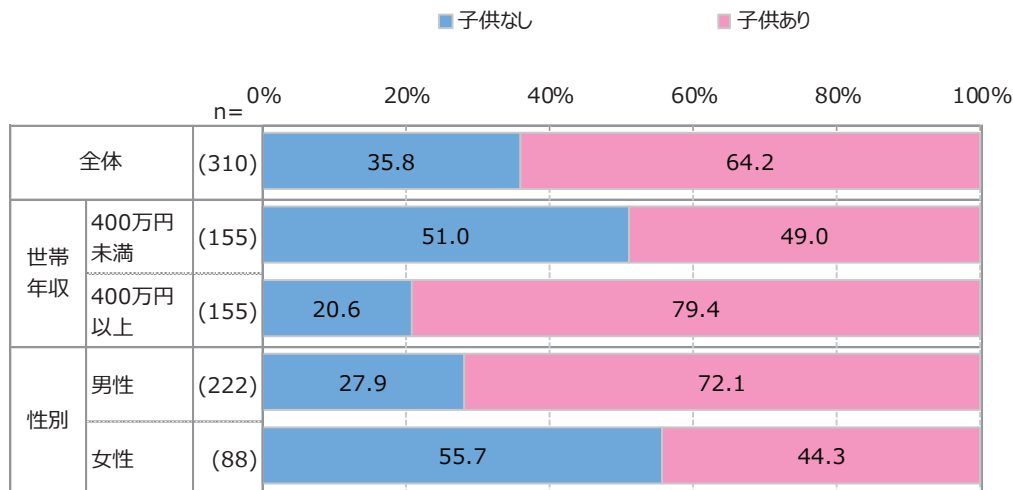


※2.0%未満のスコアは非表示

## 未既婚

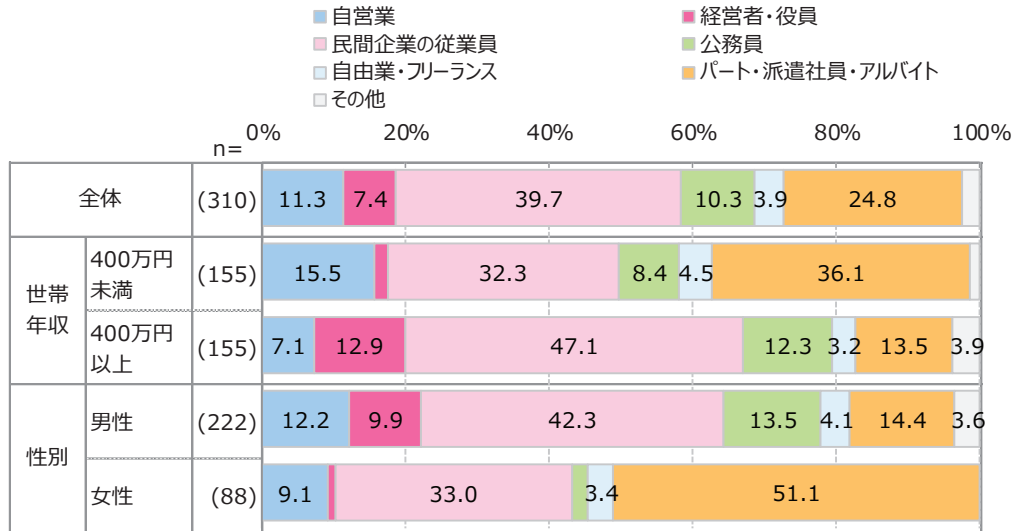


## 子供の有無



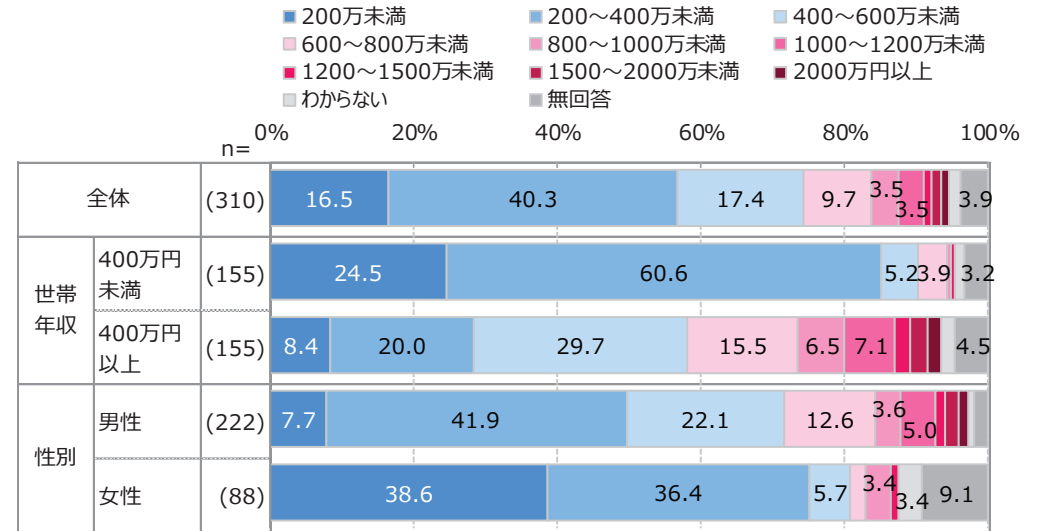
# 回答者プロフィール n=310

## 職業



※2.0%未満のスコアは非表示

## 個人年収



※2.0%未満のスコアは非表示

## 事前調査結果

# 1 新型コロナウイルス第1波による緊急事態宣言前後の就労状況

SQ1 <新型コロナウイルス第1波による緊急事態宣言（2020年3月）以前>のあなたの就労状況を教えてください。

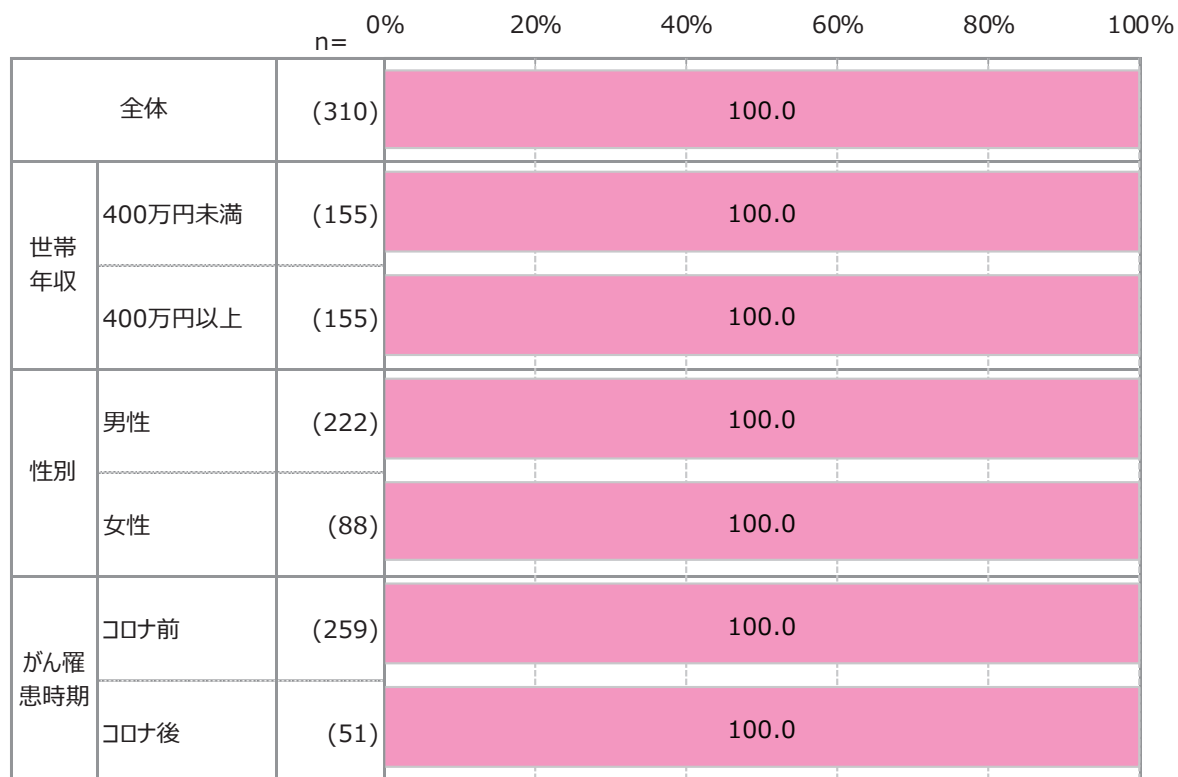
SA

SQ2 <新型コロナウイルス第1波による緊急事態宣言（2020年4月）以降>のあなたの就労状況を教えてください。

SA

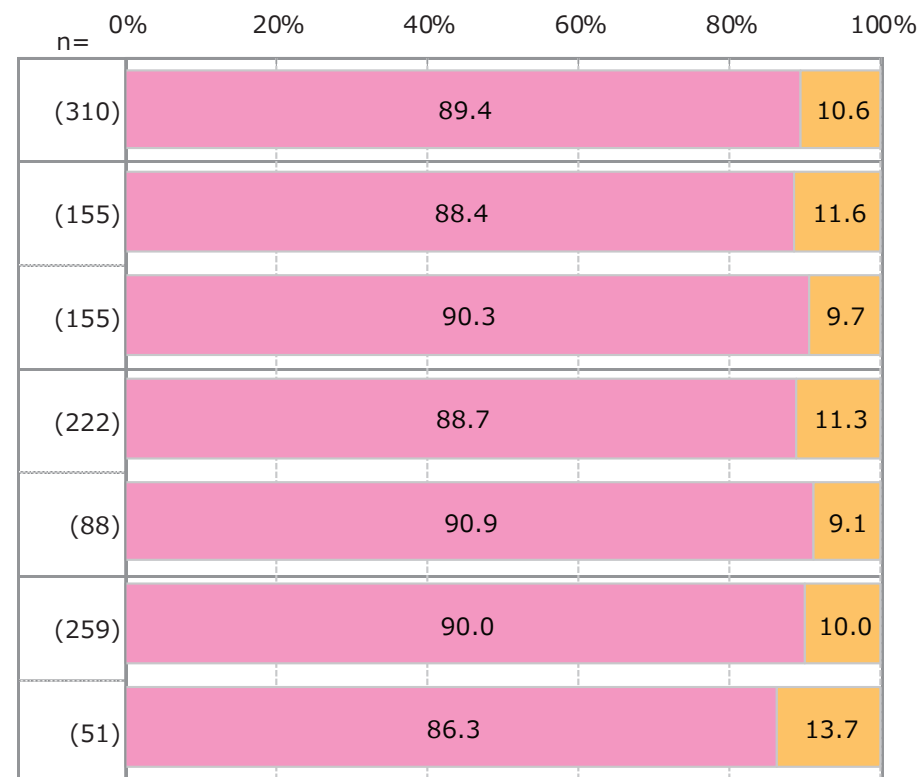
緊急事態宣言以前(SQ1)

■ 仕事をしていた □ 仕事をしていなかった



緊急事態宣言後(SQ2)

■ 無職の時期や転職することなく、現在も仕事をしている  
 ■ 無職の時期や転職を経て、現在は仕事をしている  
 □ 現在は仕事をしていない

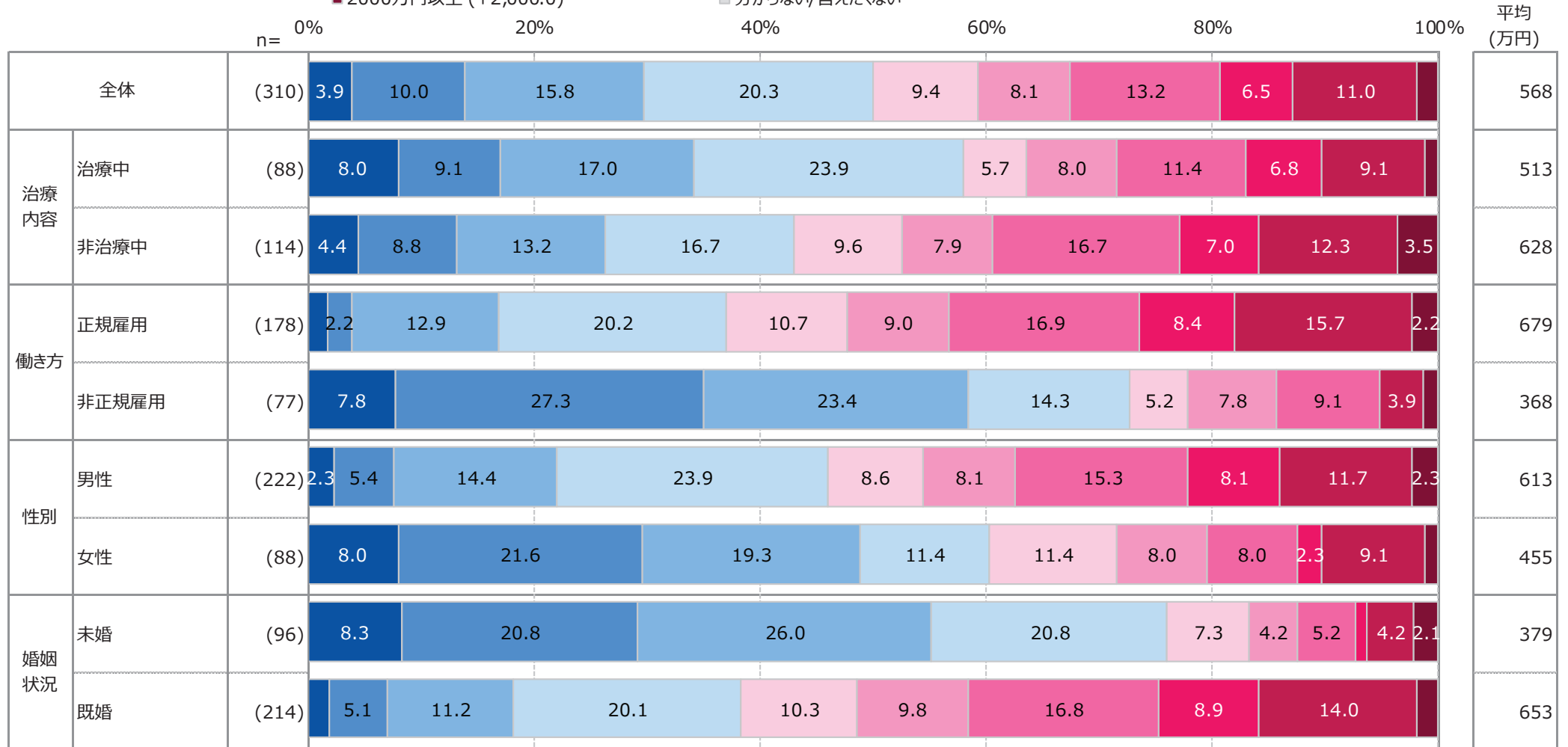


# 2 世帯年収

SQ3 あなたのご家族の世帯年収をお答えください。(税込み)

SA

- 100万円未満 (+50.0)
- 100～200万円未満 (+150.0)
- 200～300万円未満 (+250.0)
- 300～400万円未満 (+350.0)
- 400～500万円未満 (+450.0)
- 500～600万円未満 (+550.0)
- 600～800万円未満 (+700.0)
- 800～1000万円未満 (+900.0)
- 1000～2000万円未満 (+1,500.0)
- 分からない/答えたくない



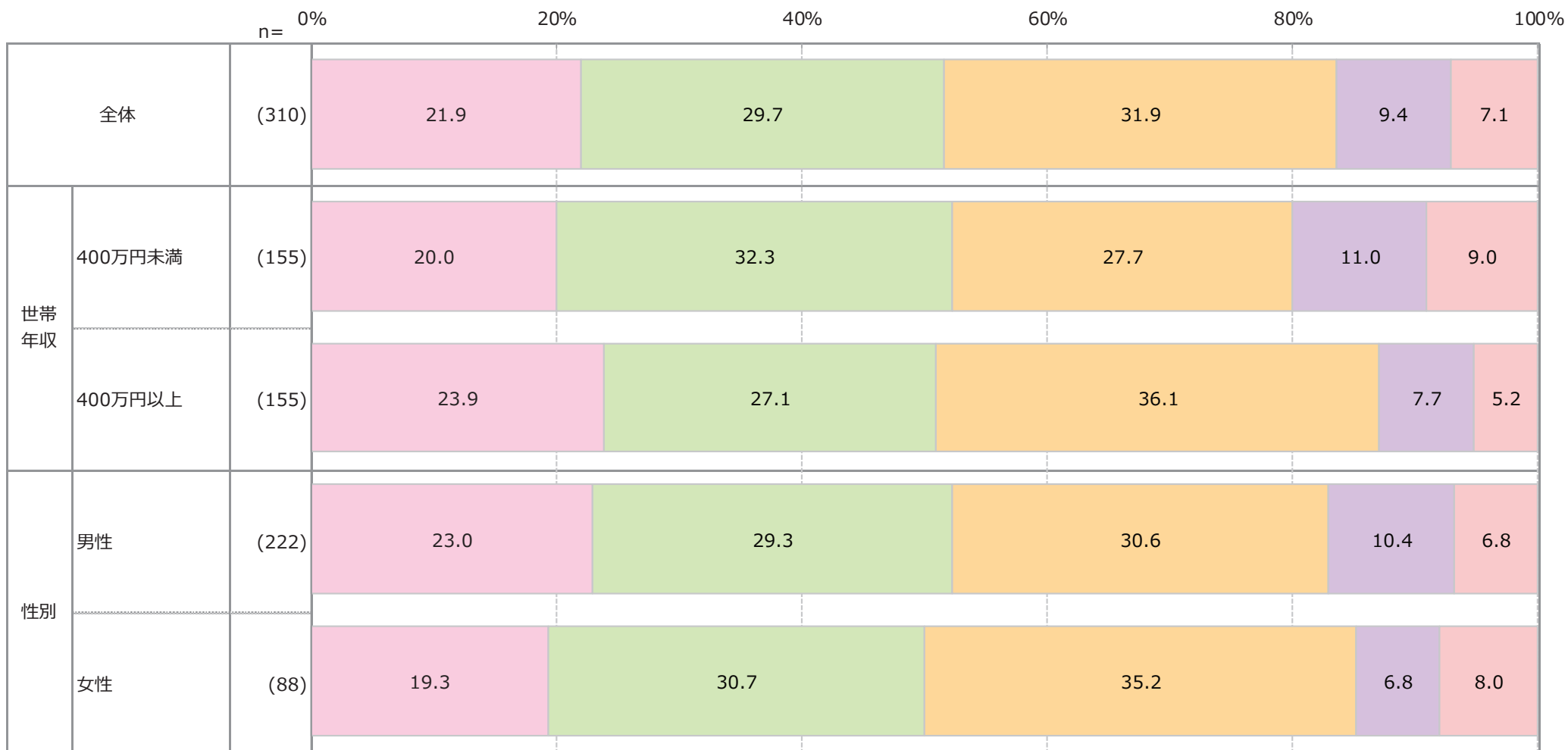
※2.0%未満のスコアは非表示

### 3 がんと診断された時期

SQ4 あなたはがんと診断されたことはありますか？診断されたことがある方は、罹患された時期をお答えください。  
 ※複数のがんを患っている方は、直近で診断を受けたがんの時期をお答えください。

SA

- がんの診断をされたことはない
- 2017年2月以前
- 2017年3月～2018年2月
- 2018年3月～2019年2月
- 2019年3月～2020年2月
- 2020年3月～2021年2月
- 2021年3月～2021年9月
- それ以外







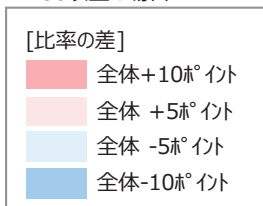
## 本調査結果

# 1 直近でがんと診断された部位

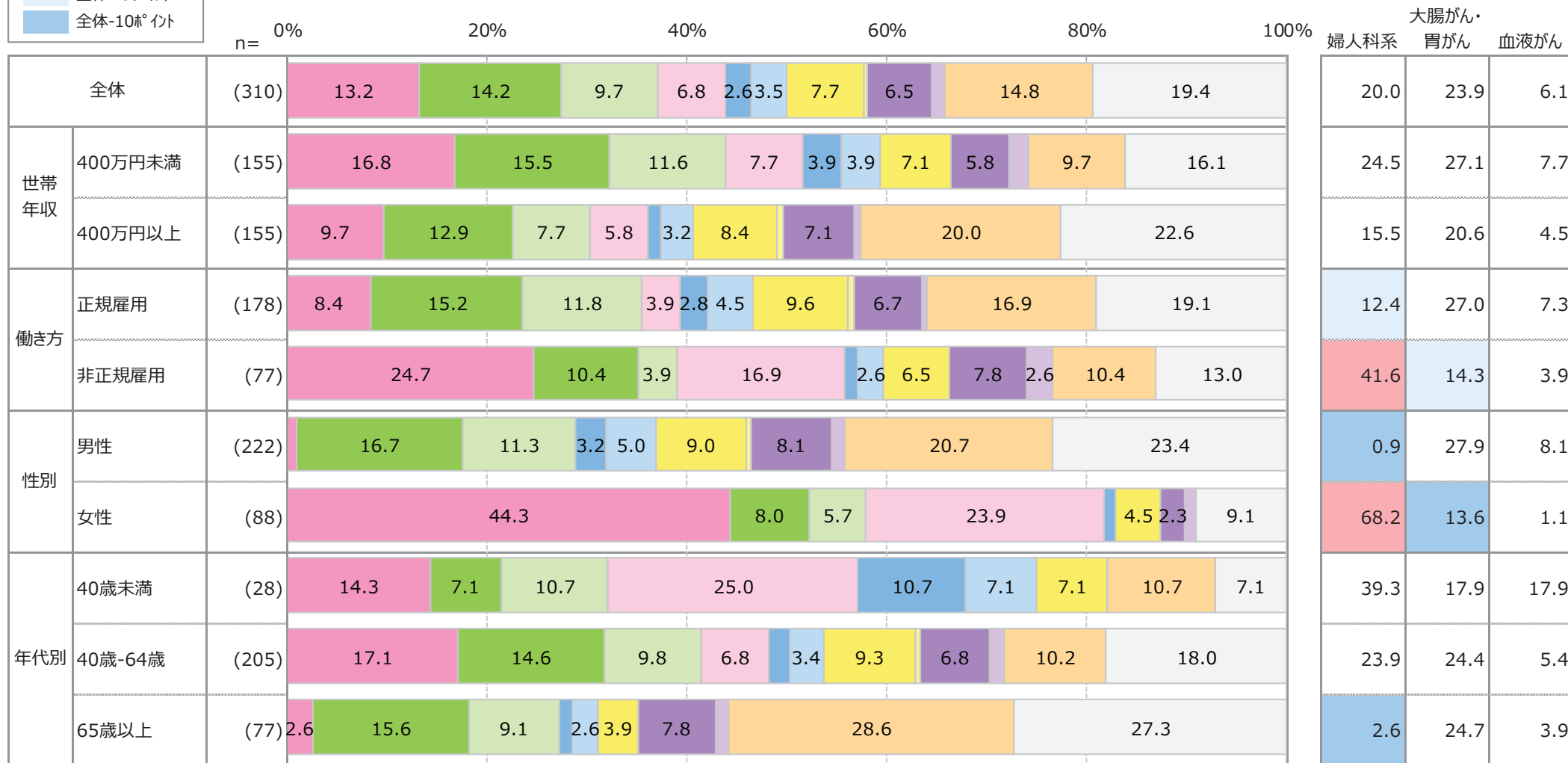
Q1 がんと診断された部位を教えてください。（最初に医師から何がと言われましたか？） ※複数患っている方は、直近で診断を受けたがんについて、お答えください。

SA

n=30以上の場合



● 乳房 ● 大腸 ● 胃 ● 子宮・卵巣 ● 白血病 ● 悪性リンパ腫 ● 肺 ● 骨 ● 胆嚢・肝臓・膵臓・腎臓 ● 脳 ● 前立腺 ● その他



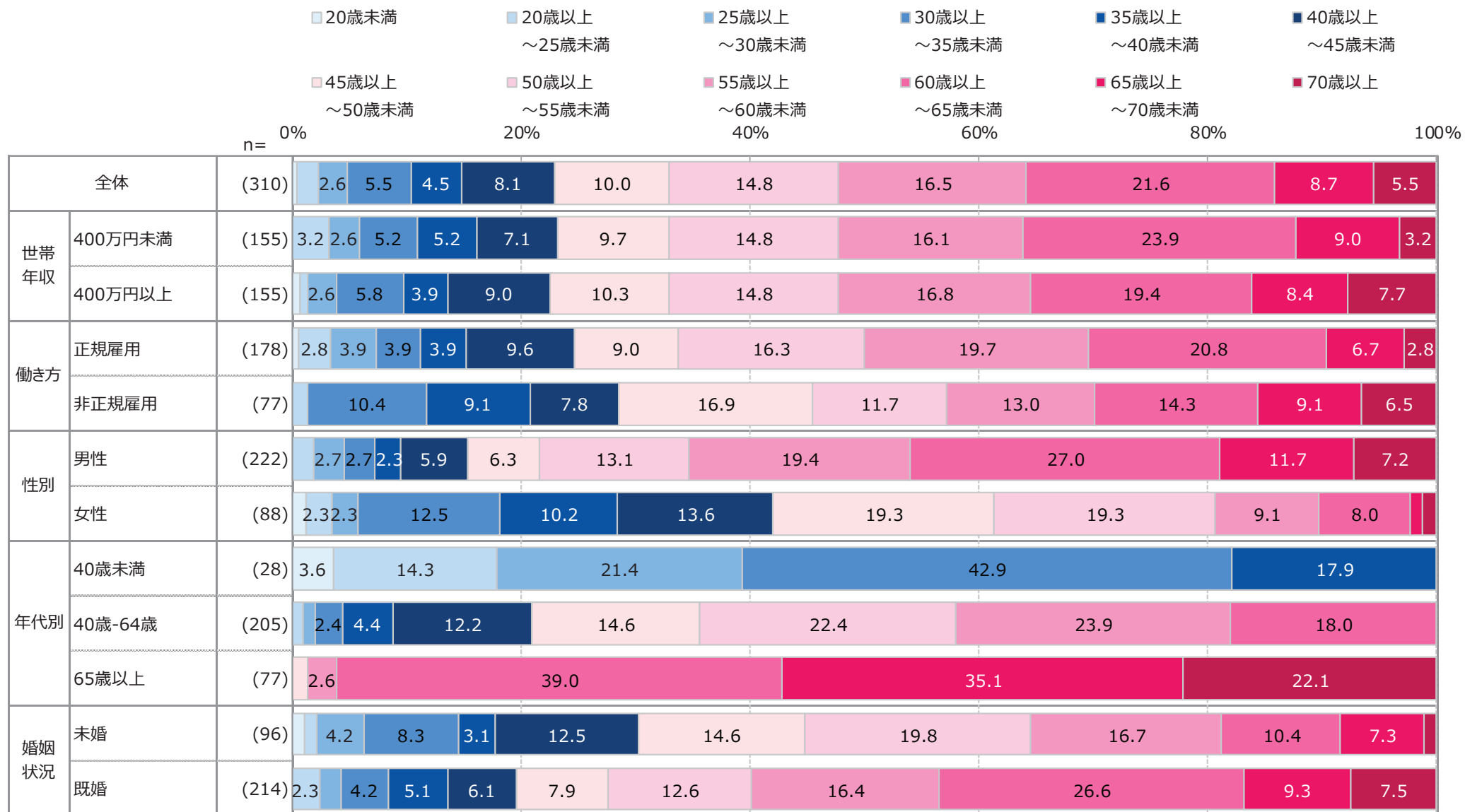
※2.0%未満のスコアは非表示

※婦人科系：「乳房」+「子宮・卵巣」/大腸がん・胃がん：「大腸」+「胃」/血液がん：「白血病」+「悪性リンパ腫」

## 2 がんと診断されたときの年齢

Q2 がんと診断された時の年齢を教えてください。

SA

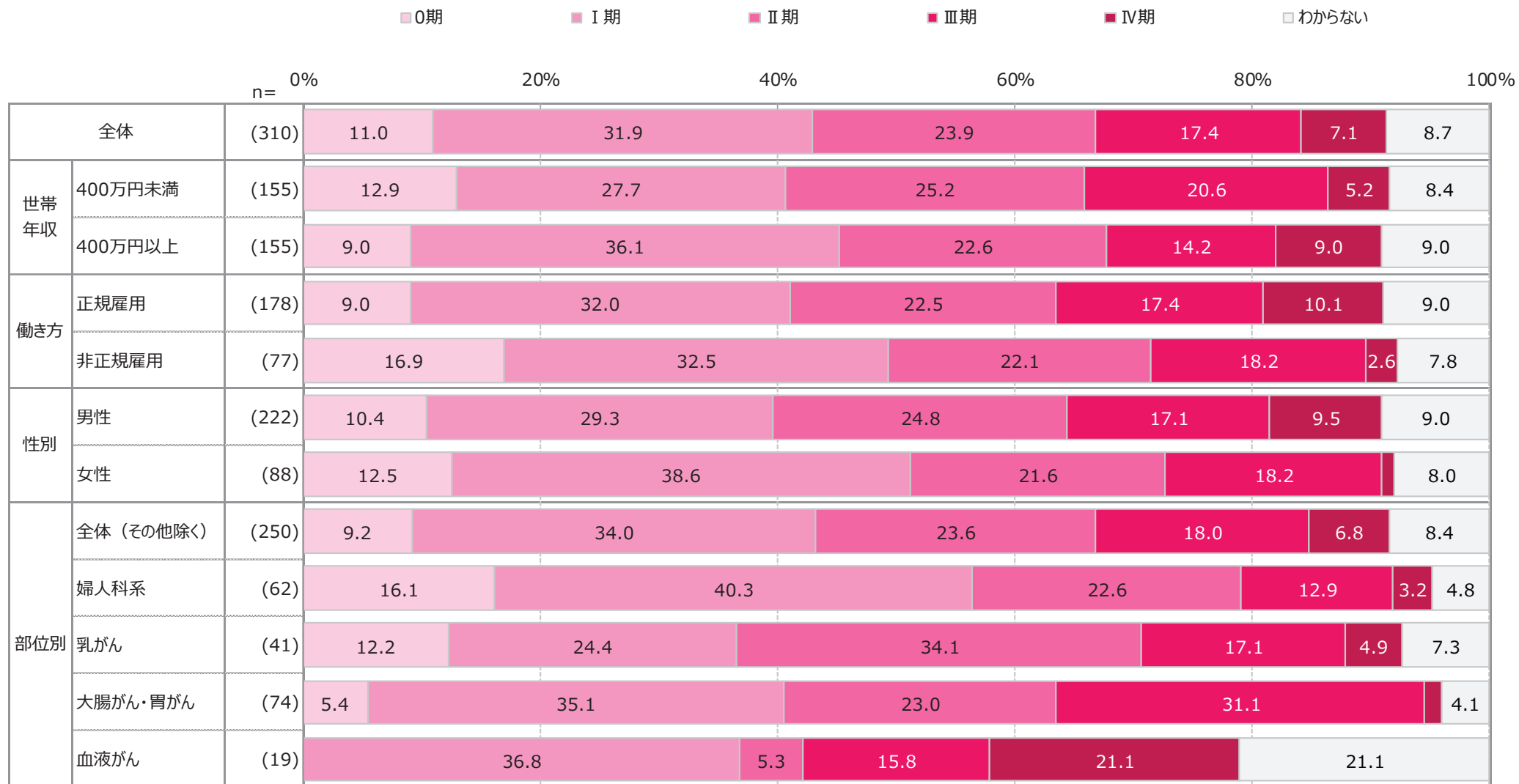


※2.0%未満のスコアは非表示

### 3 がんと診断された時の病気（ステージ）

Q3 がんと診断された時の病期（ステージ）を教えてください。診断時と現在が異なる場合は、現在の病期（ステージ）を教えてください。（1つ選択）

SA

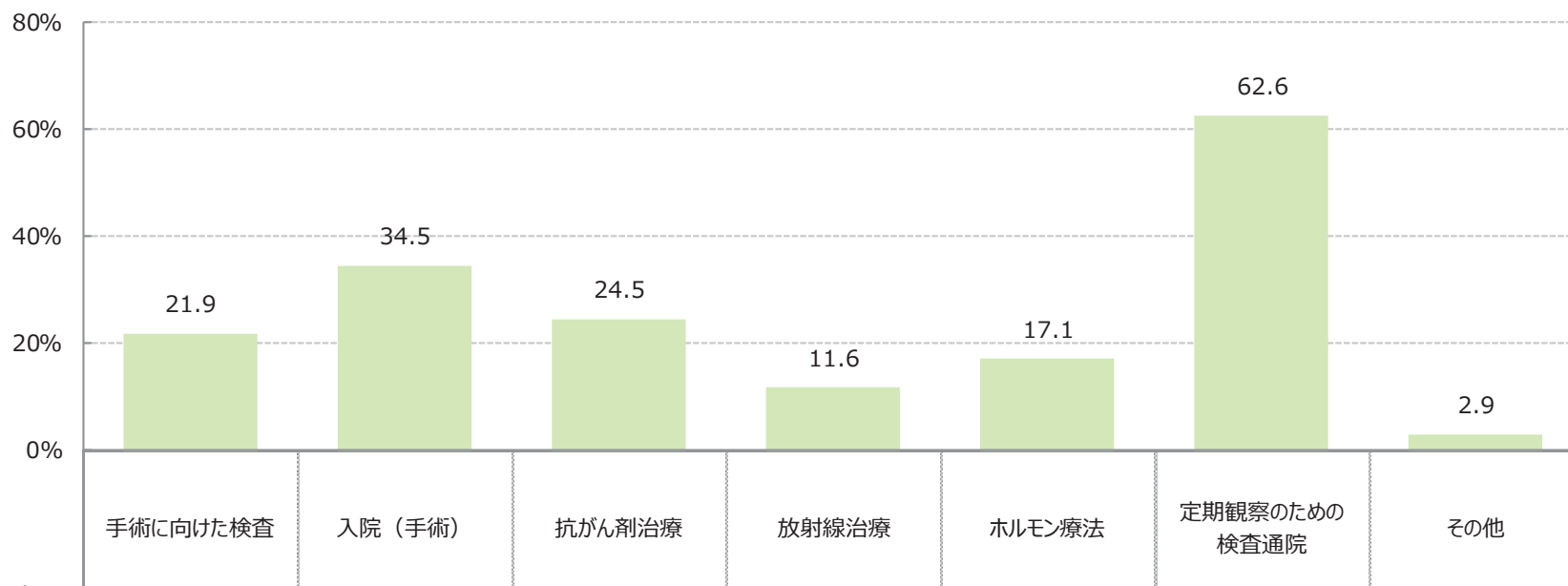


※2.0%未満のスコアは非表示

# 4 現在の治療状況

Q4 新型コロナウイルスの感染拡大以降（2020年3月以降）～現在まで、どのようながんの治療を行ったか該当するものを教えてください。（いくつでも）

MA



n=30以上の場合

[比率の差]

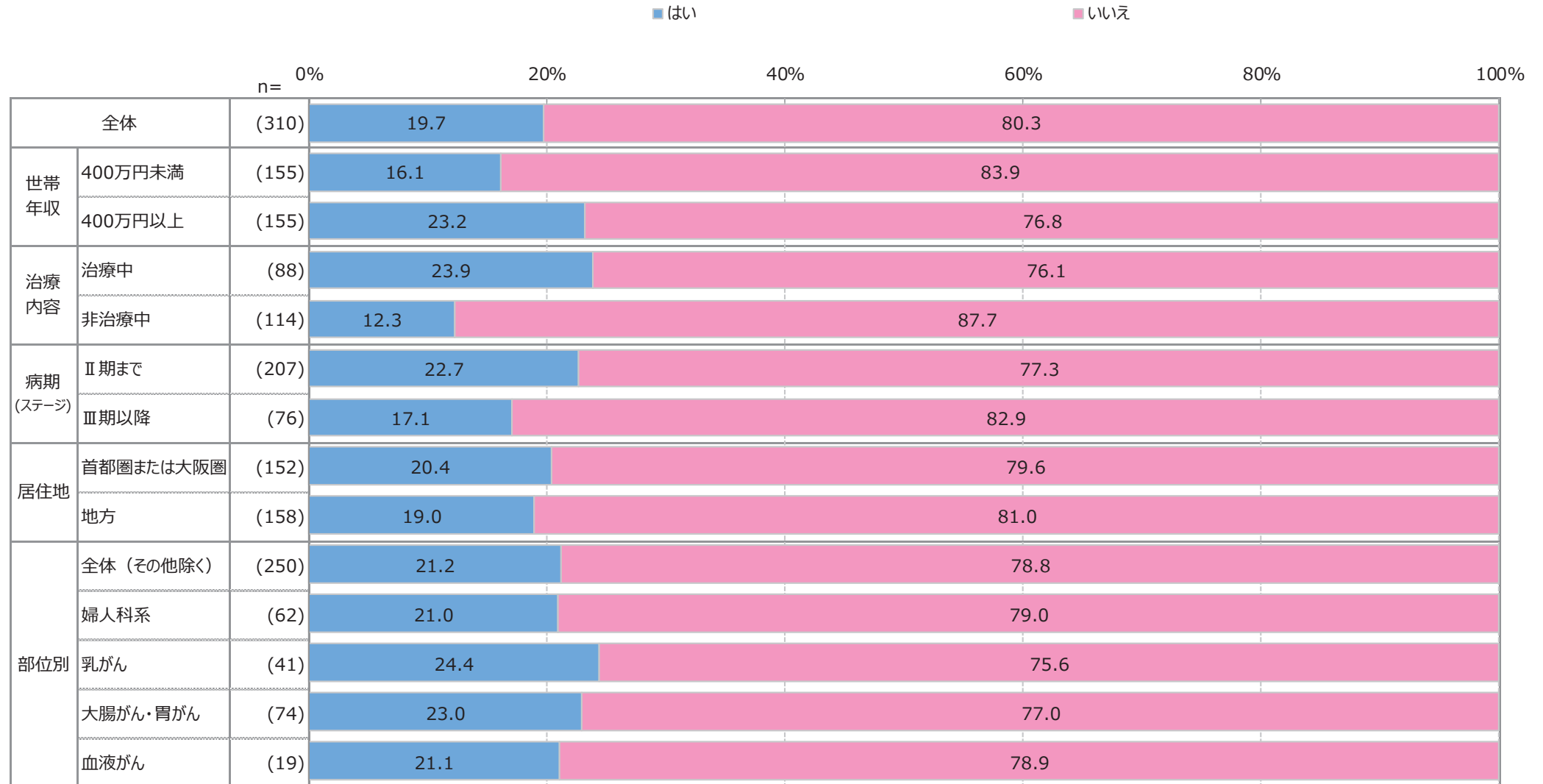
- 全体+10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体-10ポイント

		n=	手術に向けた検査	入院（手術）	抗がん剤治療	放射線治療	ホルモン療法	定期観察のための検査通院	その他
全体		(310)	21.9	34.5	24.5	11.6	17.1	62.6	2.9
世帯年収	400万円未満	(155)	25.2	39.4	29.0	12.3	14.8	58.7	1.9
	400万円以上	(155)	18.7	29.7	20.0	11.0	19.4	66.5	3.9
病期(ステージ)	Ⅱ期まで	(207)	22.7	36.2	16.4	8.7	14.0	63.8	2.4
	Ⅲ期以降	(76)	25.0	34.2	50.0	17.1	21.1	61.8	3.9
性別	男性	(222)	20.7	35.6	23.9	10.8	10.4	59.5	3.6
	女性	(88)	25.0	31.8	26.1	13.6	34.1	70.5	1.1
部位別	全体（その他除く）	(250)	20.8	34.0	26.0	13.2	20.4	59.6	2.4
	婦人科系	(62)	24.2	30.6	25.8	17.7	48.4	71.0	1.6
	乳がん	(41)	24.4	31.7	34.1	24.4	68.3	63.4	2.4
	大腸がん・胃がん	(74)	28.4	40.5	35.1	4.1	2.7	62.2	-
	血液がん	(19)	21.1	26.3	47.4	15.8	-	42.1	15.8
治療内容・スケジュールの変更	有り	(61)	34.4	45.9	41.0	21.3	19.7	47.5	4.9
	無し	(249)	18.9	31.7	20.5	9.2	16.5	66.3	2.4

# 5 コロナウイルスによる治療内容やスケジュールの変更

Q5 新型コロナウイルスの感染拡大以降（2020年3月以降）～現在まで、治療内容やスケジュールに変更はありましたか？

SA



# 6 変更をした主判断者

Q6 変更があったと回答された方にお聞きます。その主たる判断は誰が行いましたか？

SA

※治療内容・スケジュール変更者ベース



# 7 自分や周囲の意見で変更を判断した理由

Q7 自分や周囲の意見で変更を判断したと回答された方にお聞きます。その1番目の理由はなんですか？

SA

※医療機関・主治医以外で判断した人ベース

■ 院内感染への不安があったから ■ 通院途中の感染が不安だったから ■ 感染者との濃厚接触があったから ■ 自分が感染してしまったから ■ 経済的な理由から ■ その他



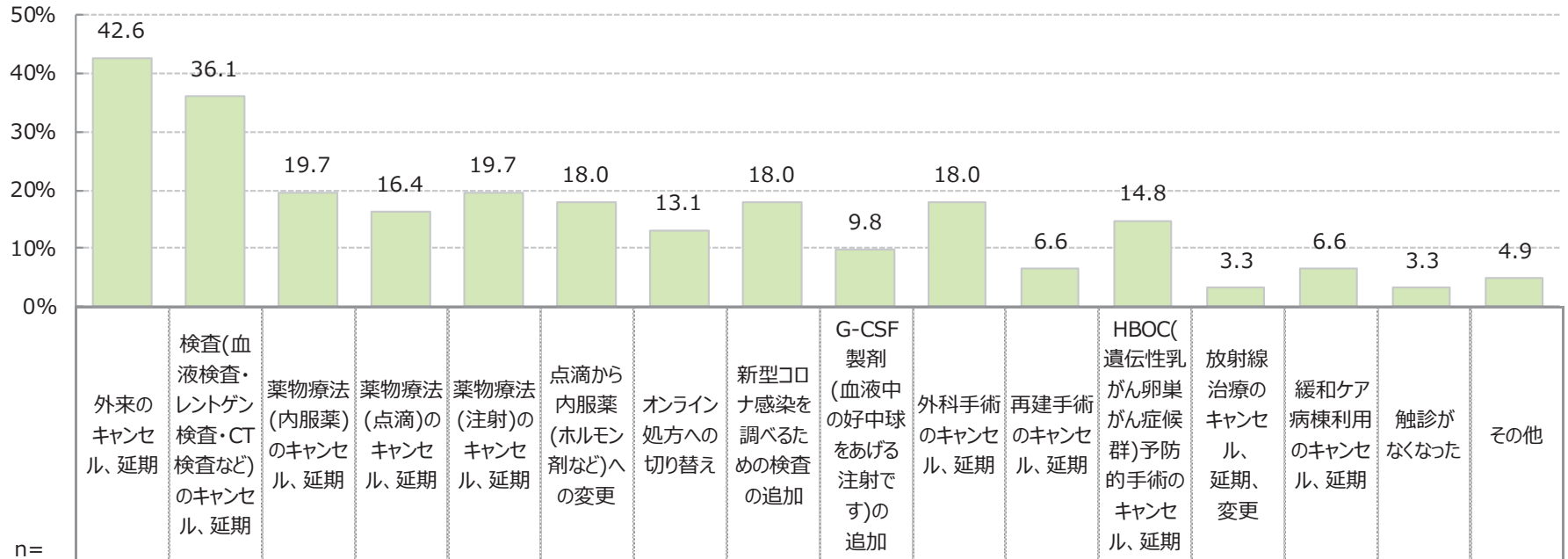


# 8 変更内容

Q8 変更があったと回答された方にお聞きます。どのような変更がありましたか？(いくつでも)

MA

※治療内容・スケジュール変更者ベース



n=30以上の場合

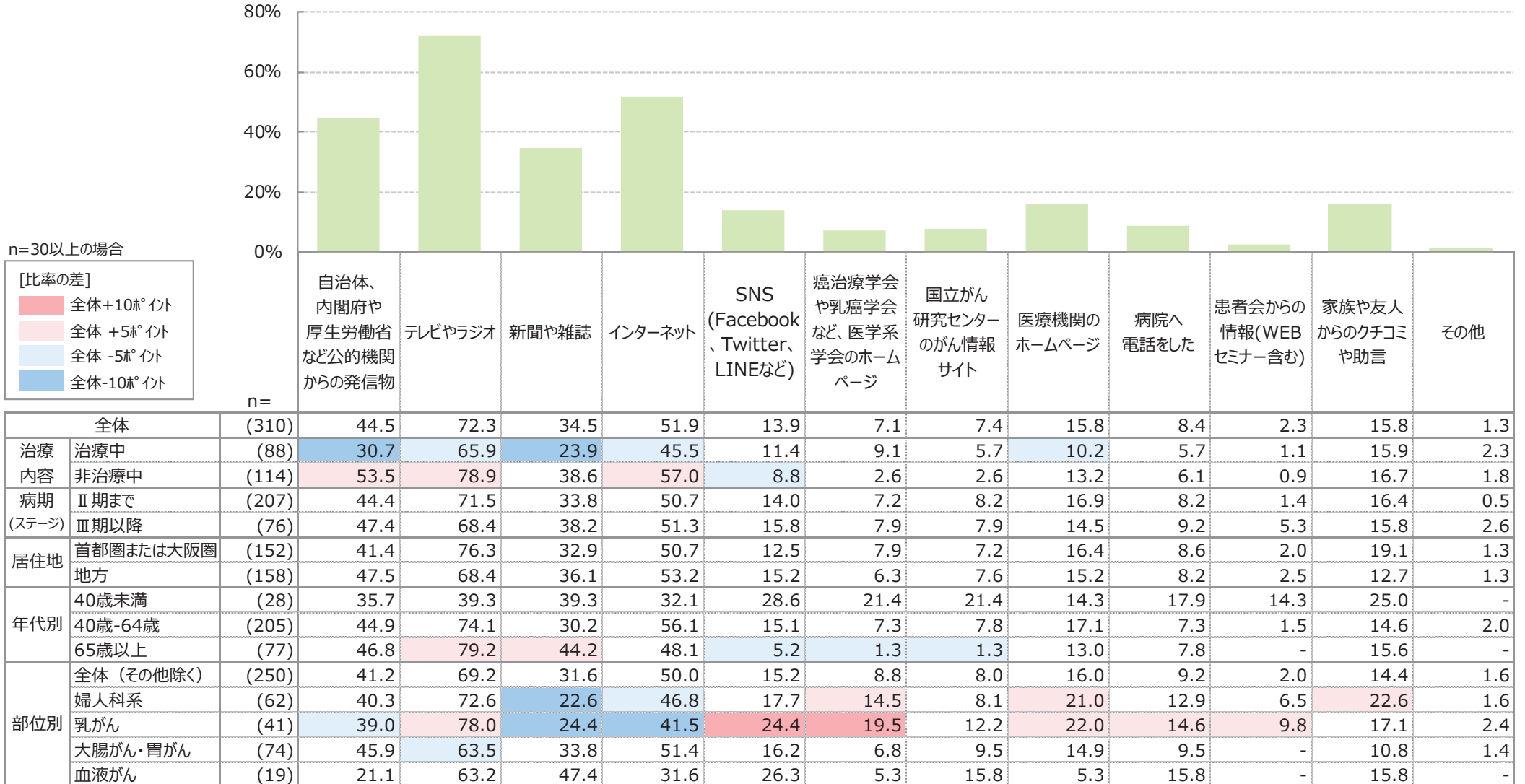
[比率の差]	
全体+10%ポイント	赤色
全体+5%ポイント	淡赤色
全体-5%ポイント	淡青色
全体-10%ポイント	青色

		n=	42.6	36.1	19.7	16.4	19.7	18.0	13.1	18.0	9.8	18.0	6.6	14.8	3.3	6.6	3.3	4.9
全体		(61)	42.6	36.1	19.7	16.4	19.7	18.0	13.1	18.0	9.8	18.0	6.6	14.8	3.3	6.6	3.3	4.9
治療内容	治療中	(21)	4.8	28.6	14.3	19.0	28.6	23.8	14.3	19.0	-	14.3	4.8	9.5	-	-	-	9.5
	非治療中	(14)	78.6	42.9	-	-	-	-	7.1	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-
病期(ステージ)	Ⅱ期まで	(47)	40.4	36.2	19.1	17.0	17.0	14.9	10.6	14.9	6.4	17.0	6.4	12.8	-	4.3	2.1	2.1
	Ⅲ期以降	(13)	46.2	38.5	23.1	15.4	30.8	30.8	23.1	30.8	23.1	23.1	7.7	23.1	15.4	15.4	7.7	15.4
居住地	首都圏または大阪圏	(31)	38.7	32.3	16.1	16.1	16.1	12.9	19.4	19.4	12.9	16.1	6.5	16.1	3.2	3.2	-	6.5
	地方	(30)	46.7	40.0	23.3	16.7	23.3	23.3	6.7	16.7	6.7	20.0	6.7	13.3	3.3	10.0	6.7	3.3
性別	男性	(42)	38.1	40.5	19.0	14.3	19.0	19.0	9.5	21.4	7.1	16.7	7.1	11.9	2.4	4.8	4.8	2.4
	女性	(19)	52.6	26.3	21.1	21.1	21.1	15.8	21.1	10.5	15.8	21.1	5.3	21.1	5.3	10.5	-	10.5
部位別	全体(その他除く)	(53)	41.5	35.8	20.8	18.9	22.6	18.9	15.1	18.9	9.4	20.8	7.5	15.1	3.8	5.7	1.9	5.7
	婦人科系	(13)	53.8	15.4	23.1	30.8	38.5	15.4	23.1	23.1	23.1	30.8	15.4	30.8	15.4	15.4	7.7	15.4
	乳がん	(10)	60.0	20.0	30.0	40.0	50.0	20.0	30.0	20.0	30.0	30.0	20.0	40.0	20.0	20.0	10.0	20.0
	大腸がん・胃がん	(17)	52.9	35.3	29.4	17.6	29.4	23.5	17.6	17.6	5.9	17.6	-	5.9	-	5.9	-	5.9
	血液がん	(4)	25.0	75.0	25.0	50.0	-	50.0	-	75.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-

# 9-1 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？

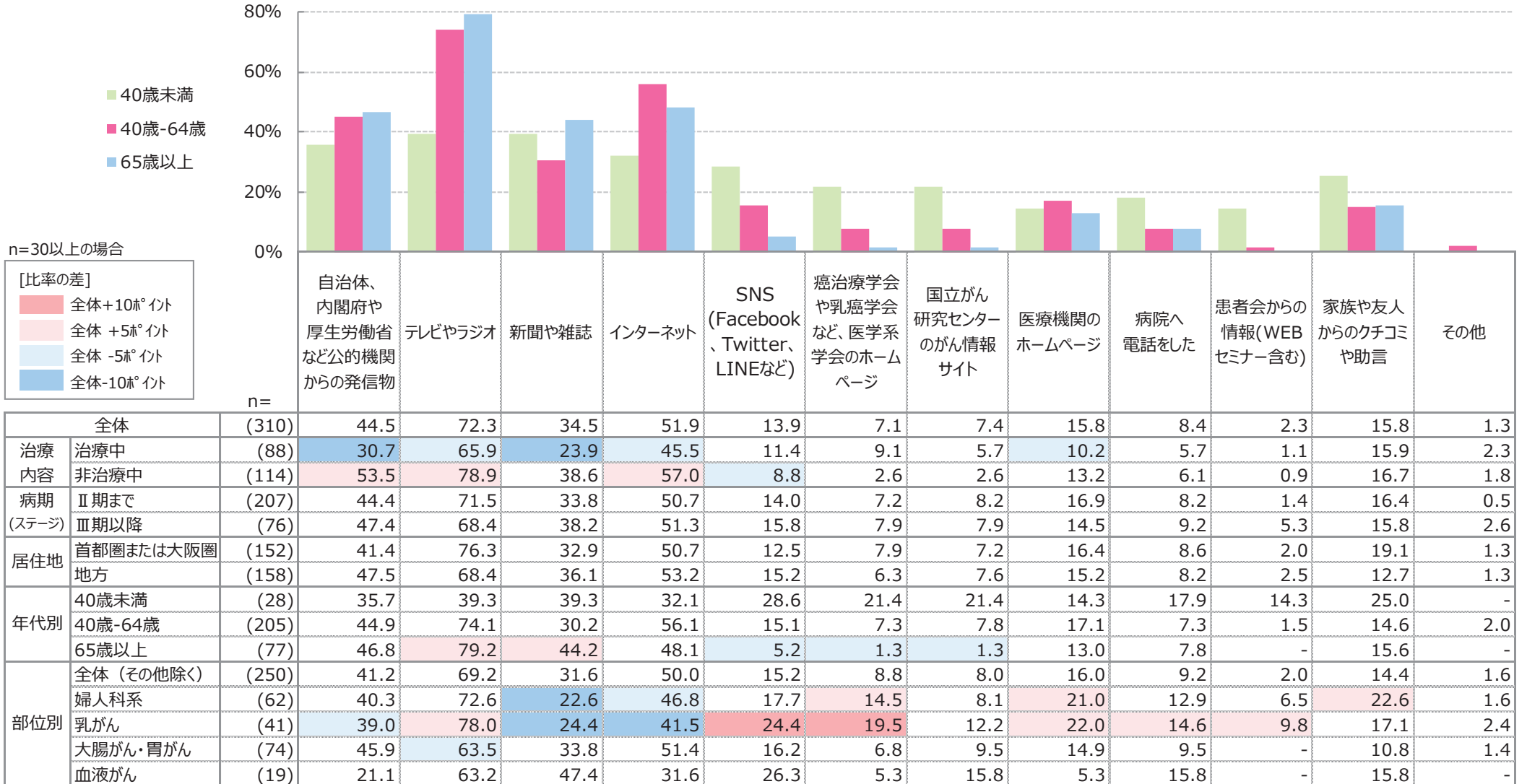
MA



# 9-2 新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策についての情報源

Q9 新型コロナウイルス感染症の予防対策について、どこから情報を得ましたか？

MA



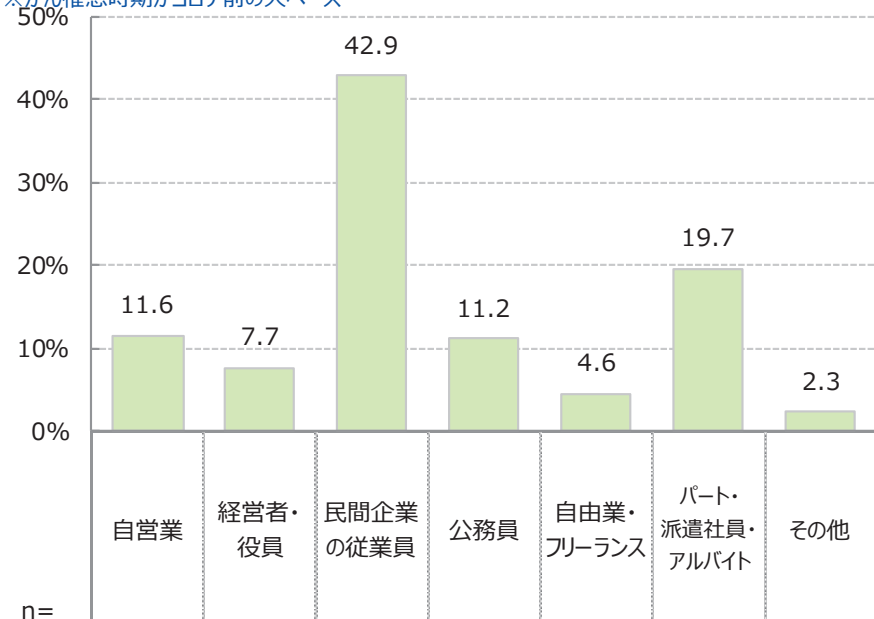
# 10 新型コロナウイルスの感染拡大前後のお仕事

Q10 新型コロナウイルスの感染拡大前（2020年2月以前）と現在で該当するお仕事について、それぞれひとつお選びください。同じお仕事の場合は、同じものを選択してください。  
※複数あてはまる方はメインの職業についてお答えください。

SA

新型コロナ感染拡大前のお仕事(Q10S1)

※がん罹患時期がコロナ前の人ベース



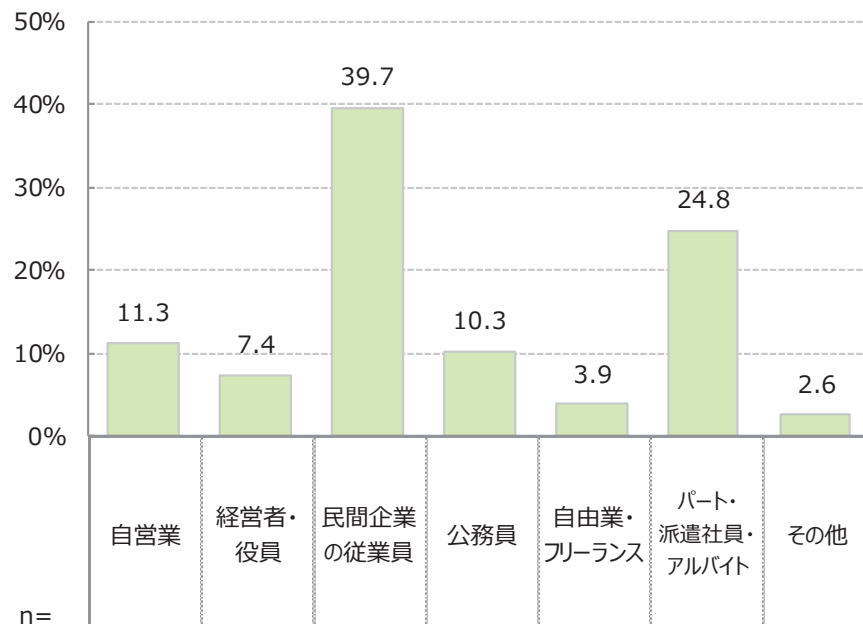
n=30以上の場合

[比率の差]

- 全体+10%以上
- 全体+5%以上
- 全体-5%以上
- 全体-10%以上

		n=	自営業	経営者・役員	民間企業の従業員	公務員	自由業・フリーランス	パート・派遣社員・アルバイト	その他
全体		(259)	11.6	7.7	42.9	11.2	4.6	19.7	2.3
世帯年収	400万円未満	(124)	16.1	3.2	35.5	8.1	5.6	30.6	0.8
	400万円以上	(135)	7.4	11.9	49.6	14.1	3.7	9.6	3.7
治療内容	治療中	(64)	10.9	14.1	39.1	10.9	3.1	20.3	1.6
	非治療中	(113)	11.5	4.4	38.9	16.8	5.3	18.6	4.4
性別	男性	(184)	12.5	9.8	46.2	14.7	4.3	9.2	3.3
	女性	(75)	9.3	2.7	34.7	2.7	5.3	45.3	-
年代別	50代未満	(57)	3.5	8.8	47.4	7.0	1.8	31.6	-
	50代	(78)	9.0	6.4	44.9	11.5	5.1	21.8	1.3
	60代	(96)	15.6	5.2	47.9	15.6	4.2	8.3	3.1
	70代以上	(28)	21.4	17.9	10.7	3.6	10.7	28.6	7.1

現在のお仕事(Q10S2)



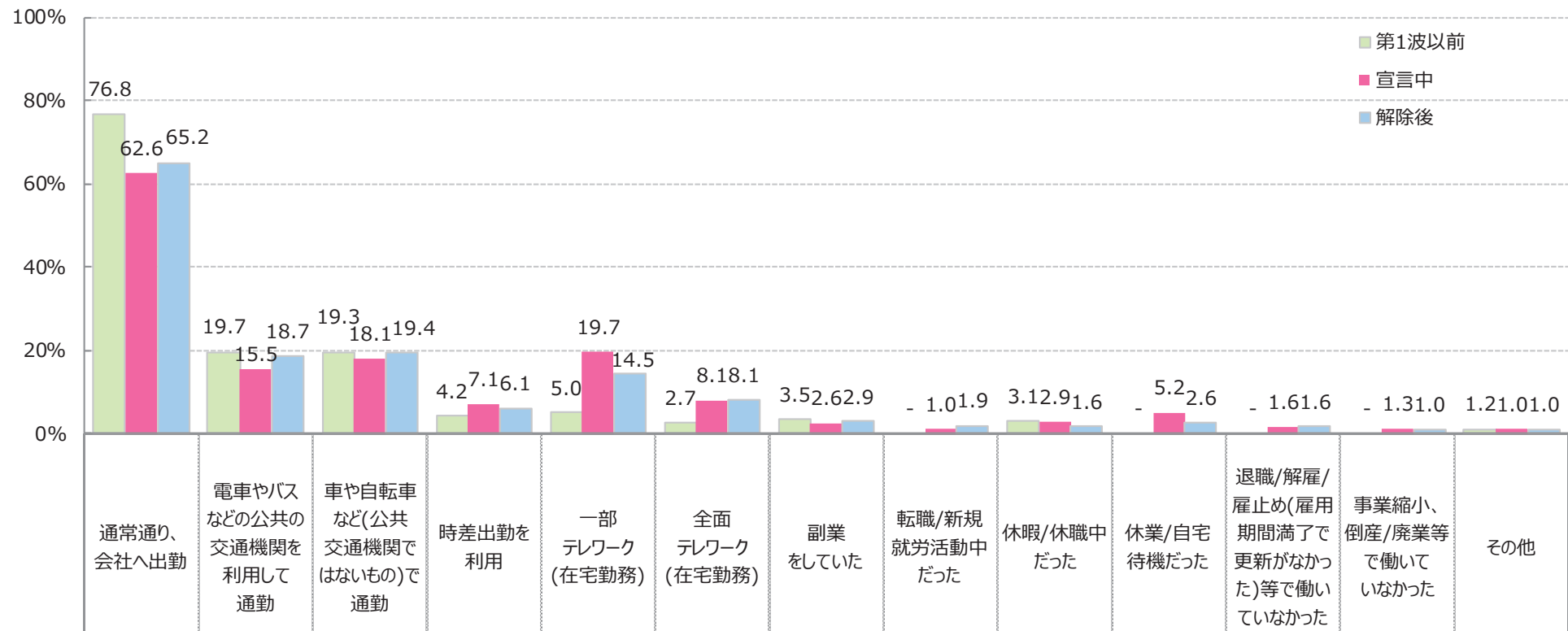
		n=	自営業	経営者・役員	民間企業の従業員	公務員	自由業・フリーランス	パート・派遣社員・アルバイト	その他
全体		(310)	11.3	7.4	39.7	10.3	3.9	24.8	2.6
世帯年収	400万円未満	(155)	15.5	1.9	32.3	8.4	4.5	36.1	1.3
	400万円以上	(155)	7.1	12.9	47.1	12.3	3.2	13.5	3.9
治療内容	治療中	(88)	10.2	12.5	33.0	12.5	3.4	25.0	3.4
	非治療中	(114)	11.4	4.4	38.6	15.8	5.3	20.2	4.4
性別	男性	(222)	12.2	9.9	42.3	13.5	4.1	14.4	3.6
	女性	(88)	9.1	1.1	33.0	2.3	3.4	51.1	-
年代別	50代未満	(75)	5.3	9.3	41.3	10.7	-	33.3	-
	50代	(90)	10.0	5.6	43.3	10.0	5.6	24.4	1.1
	60代	(115)	13.9	5.2	43.5	12.2	3.5	17.4	4.3
	70代以上	(30)	20.0	16.7	10.0	3.3	10.0	33.3	6.7

# 11-4 第1波以前／緊急事態宣言中／解除後の働き方

Q11 新型コロナウイルスの第1波以前（2020年2月）と以降（2020年3月～現在）のそれぞれの期間で、あなたの働き方に該当するものをお選びください。（いくつでも）

MA

※第1波以前にデータはがん罹患時期がコロナ前の人ベース

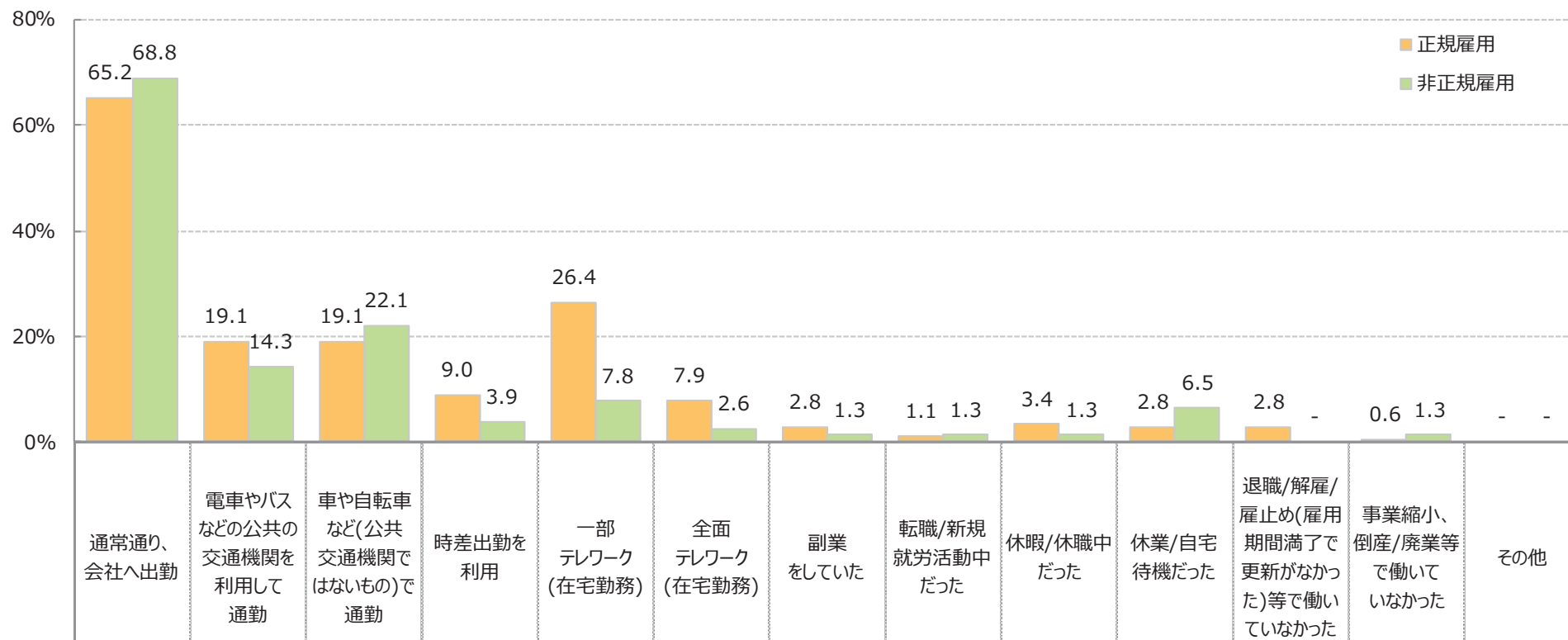


n=	第1波以前	宣言中	解除後
(259)	(310)	(310)	
通常通り、会社へ出勤	76.8	62.6	65.2
電車やバスなどの公共交通機関を利用して通勤	19.7	15.5	18.7
車や自転車など(公共交通機関ではないもの)で通勤	19.3	18.1	19.4
時差出勤を利用	4.2	7.1	6.1
一部テレワーク(在宅勤務)	5.0	19.7	14.5
全面テレワーク(在宅勤務)	2.7	8.1	8.1
副業をしていた	3.5	2.6	2.9
転職/新規就労活動中だった	-	1.0	1.9
休暇/休職中だった	3.1	2.9	1.6
休業/自宅待機だった	-	5.2	2.6
退職/解雇/雇止め(雇用期間満了で更新がなかった)等で働いていなかった	-	1.6	1.6
事業縮小、倒産/廃業等で働いていなかった	-	1.3	1.0
その他	1.2	1.0	1.0

# 11-5 緊急事態宣言中の働き方

Q11 新型コロナウイルスの第1波以前（2020年2月）と以降（2020年3月～現在）のそれぞれの期間で、あなたの働き方に該当するものをお選びください。（いくつでも）

MA



n=		通常通り、会社へ出勤	電車やバスなどの公共交通機関を利用して通勤	車や自転車など(公共交通機関ではないもの)で通勤	時差出勤を利用	一部テレワーク(在宅勤務)	全面テレワーク(在宅勤務)	副業をしていた	転職/新規就労活動中だった	休暇/休職中だった	休業/自宅待機だった	退職/解雇/雇止め(雇用期間満了で更新がなかった)等で働いていなかった	事業縮小、倒産/廃業等で働いていなかった	その他
正規雇用	(178)	65.2	19.1	19.1	9.0	26.4	7.9	2.8	1.1	3.4	2.8	2.8	0.6	-
非正規雇用	(77)	68.8	14.3	22.1	3.9	7.8	2.6	1.3	1.3	1.3	6.5	-	1.3	-

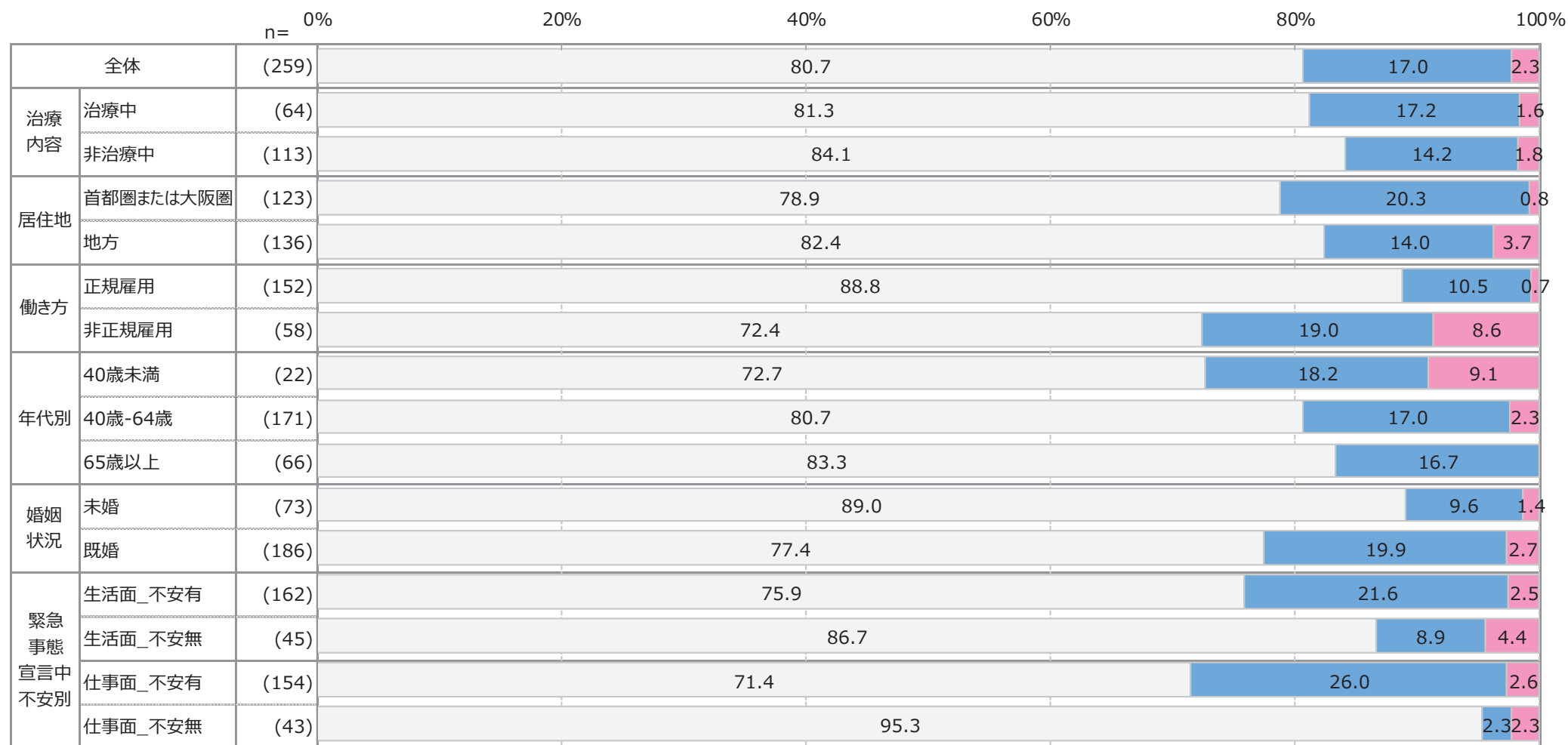
# 12 緊急事態宣言発出後の労働時間の変化

Q12 新型コロナウイルスの第1波による緊急事態宣言（2020年4月）が発出されて以降、あなたの働く時間は増えましたか？減りましたか？

SA

※がん罹患時期がコロナ前の人ベース

□ 変わらない      ■ 減った      ■ 増えた



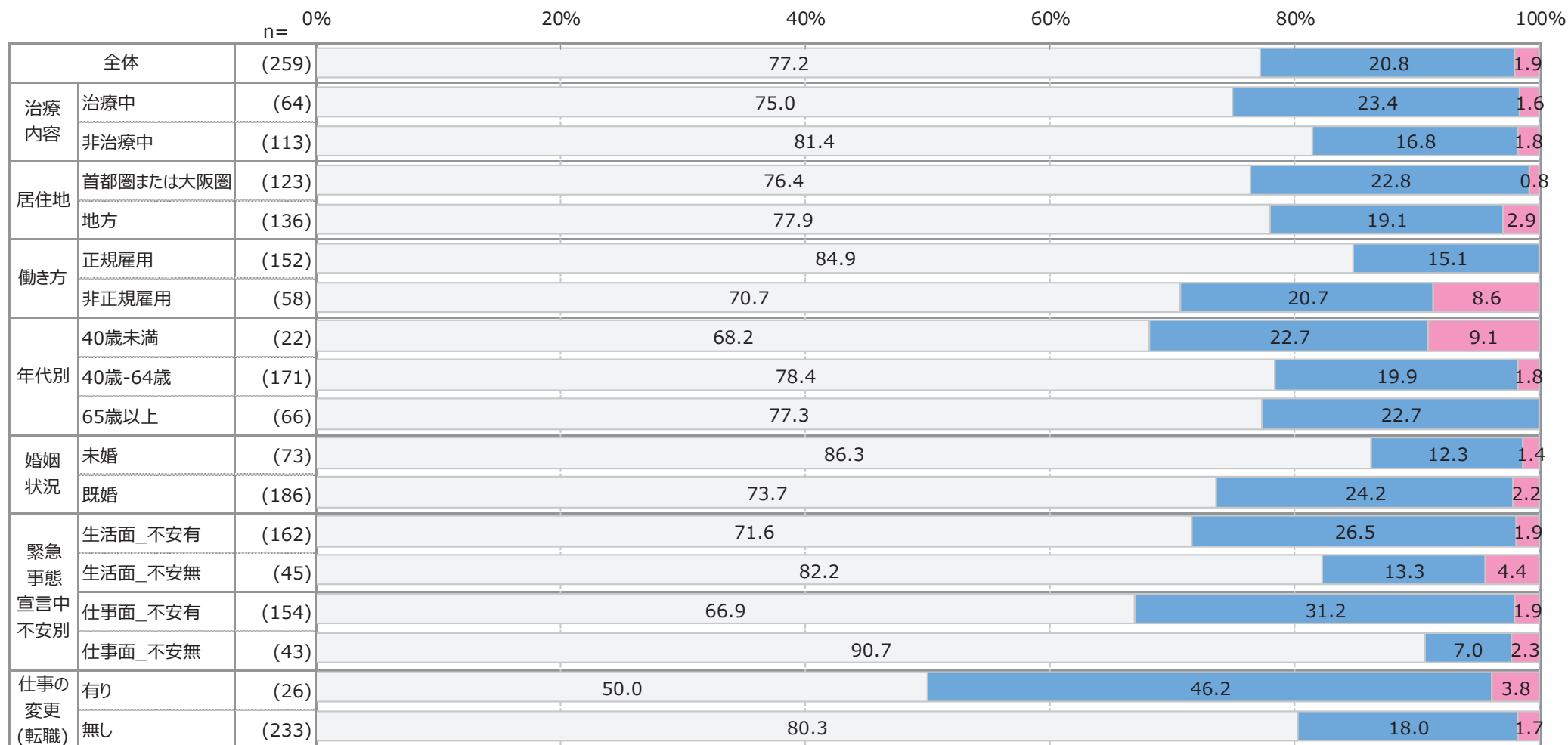
# 13 緊急事態宣言発出後の月収の変化

Q13 新型コロナウイルスの第1波による緊急事態宣言（2020年4月）が発出されて以降、あなたの月収に変化はありましたか？

SA

※がん罹患時期がコロナ前の人ベース

□ 変わらない      ■ 減った      ■ 増えた





# 12-13 緊急事態宣言前後の月収・就労時間の変化

Q12 新型コロナウイルスの第1波による緊急事態宣言（2020年4月）が発出されて以降、あなたの働く時間は増えましたか？減りましたか？

SA

Q13 新型コロナウイルスの第1波による緊急事態宣言（2020年4月）が発出されて以降、あなたの月収に変化はありましたか？

SA

※がん罹患時期がコロナ前の人ベース

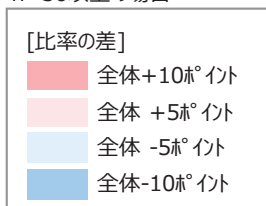
		n=	自営業	経営者・役員	民間企業の 従業員	公務員	自由業・ フリーランス	パート・派遣社員 ・アルバイト	その他	(%)
緊急事態宣言 発出後の 労働時間の 変化	変わらない	(251)	8.8	7.2	44.6	12.4	3.2	21.1	2.8	
	減った	(53)	<u>26.4</u>	13.2	<u>32.1</u>	1.9	7.5	<u>18.9</u>	-	
	増えた	(6)	-	-	16.7	-	-	83.3	-	
緊急事態宣言 発出後の 月収の変化	変わらない	(242)	7.9	6.6	43.4	11.6	3.3	24.0	3.3	
	減った	(63)	<u>25.4</u>	11.1	<u>28.6</u>	6.3	6.3	<u>22.2</u>	-	
	増えた	(5)	-	-	-	-	-	100.0	-	

# 14-1 新型コロナウイルスの感染拡大期間中の不安度【生活面】

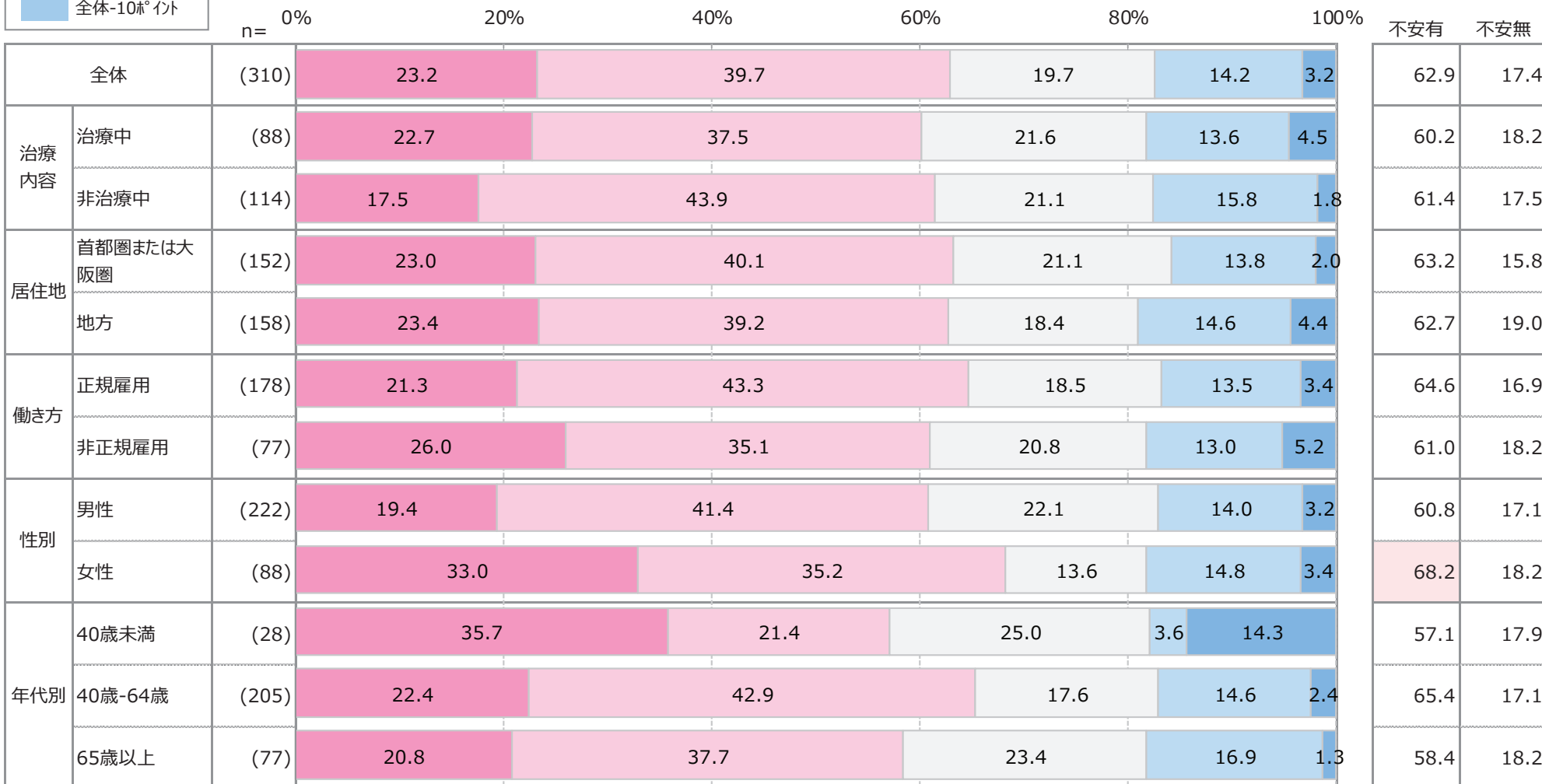
Q14 新型コロナウイルスの第5波による感染拡大期間中（2021年7～9月）、あなたは生活面、仕事面においてどれくらい不安やストレスを感じましたか。

SA

n=30以上の場合



■ とても強く感じた   ■ やや感じた   ■ どちらでもない   ■ あまり感じない   ■ 全く感じない



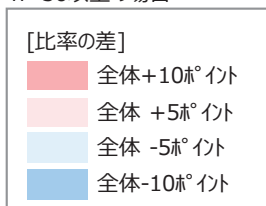
※不安有：「とても強く感じた」+「やや感じた」/不安無：「あまり感じない」+「全く感じない」

# 14-2 新型コロナウイルスの感染拡大期間中の不安度【仕事面】

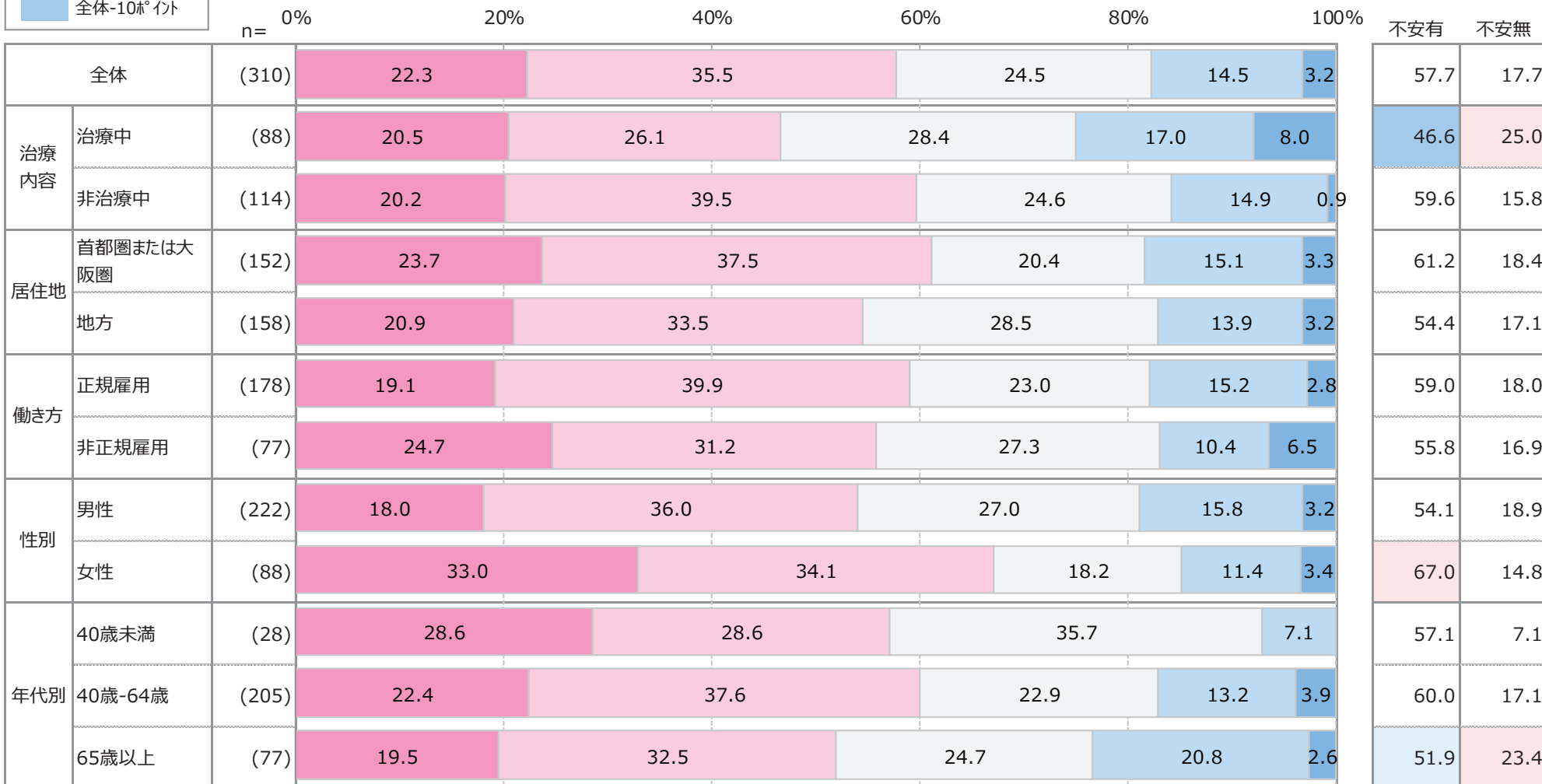
Q14 新型コロナウイルスの第5波による感染拡大期間中（2021年7～9月）、あなたは生活面、仕事面においてどれくらい不安やストレスを感じましたか。

SA

n=30以上の場合



■とても強く感じた ■やや感じた ■どちらでもない ■あまり感じない ■全く感じない



※不安有：「とても強く感じた」+「やや感じた」/不安無：「あまり感じない」+「全く感じない」

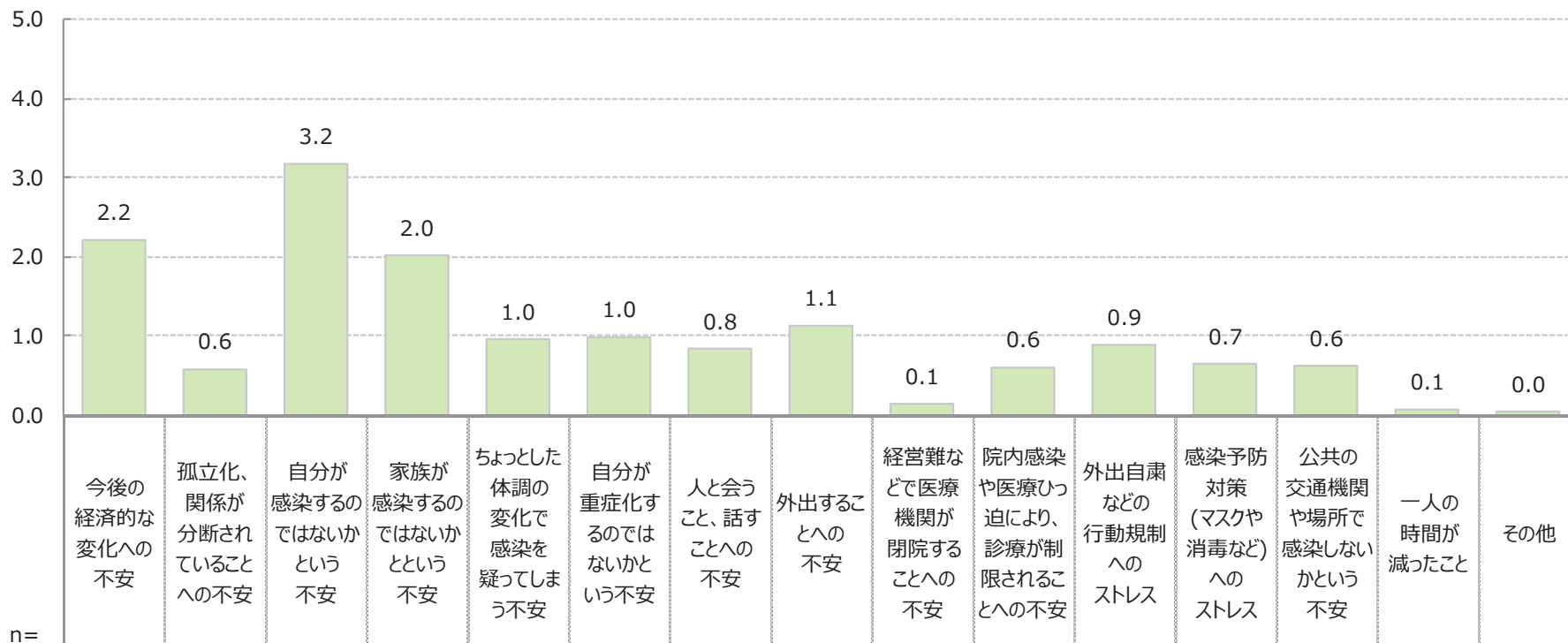
# 15-2 不安に感じたこと（生活面）

# 全体(平均)

Q15 Q14の生活面において不安やストレスを感じたと回答した方にお聞きます。どのような不安やストレスを感じましたか？【1位~5位・計】

RANK

※生活面においてストレスを感じた人ベース



		n=	2.2	0.6	3.2	2.0	1.0	1.0	0.8	1.1	0.1	0.6	0.9	0.7	0.6	0.1	0.0
全体		(195)	2.2	0.6	3.2	2.0	1.0	1.0	0.8	1.1	0.1	0.6	0.9	0.7	0.6	0.1	0.0
治療内容	治療中	(53)	2.2	0.3	3.1	1.7	0.7	1.1	1.0	1.5	0.2	0.6	0.8	1.0	0.6	0.1	0.1
	非治療中	(70)	1.7	0.5	3.6	2.2	1.1	1.1	1.0	1.1	0.1	0.5	1.0	0.6	0.5	-	0.1
居住地	首都圏または大阪圏	(96)	2.3	0.6	3.3	2.0	1.1	1.0	0.7	1.0	0.1	0.6	0.9	0.6	0.6	0.0	0.0
	地方	(99)	2.1	0.6	3.1	2.0	0.8	0.9	0.9	1.2	0.1	0.6	0.9	0.7	0.6	0.1	0.1
働き方	正規雇用	(115)	2.1	0.7	3.1	1.9	0.9	1.1	0.9	1.1	0.1	0.7	1.0	0.6	0.7	0.1	0.1
	非正規雇用	(47)	2.2	0.4	3.4	2.0	1.3	0.8	0.7	1.3	0.1	0.6	0.8	0.9	0.4	0.1	-
性別	男性	(135)	2.1	0.6	3.2	2.1	0.8	1.1	0.9	1.3	0.2	0.6	0.9	0.6	0.6	0.1	0.0
	女性	(60)	2.6	0.5	3.1	2.0	1.3	0.9	0.6	0.9	0.1	0.6	1.0	0.7	0.7	0.1	0.1
年代別	40歳未満	(16)	2.8	0.9	2.8	1.4	1.4	0.7	1.0	1.0	0.4	0.8	0.4	0.3	0.8	0.4	-
	40歳-64歳	(134)	2.2	0.7	3.2	2.1	0.9	1.1	0.8	0.9	0.1	0.6	1.0	0.7	0.6	0.1	0.1
	65歳以上	(45)	2.1	0.3	3.3	2.2	1.0	0.9	0.9	1.8	0.1	0.5	0.7	0.6	0.6	-	0.0

※スコアは右記で算出した平均点：1位（5点）/2位（4点）/3位（3点）/4位（2点）/5位（1点）

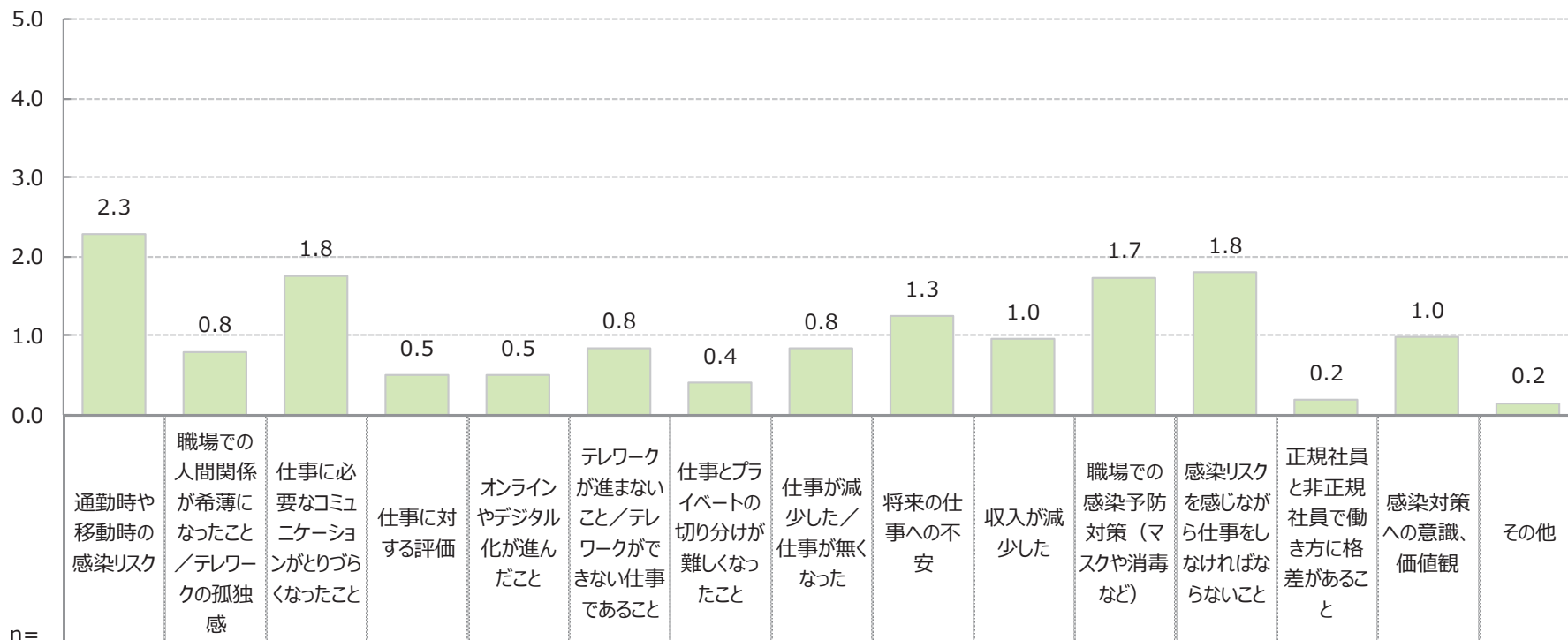
# 16-2 不安に感じたこと（仕事面）

# 全体(平均)

Q16 Q14の仕事の面において不安やストレスを感じたと回答した方にお聞きます。どのような不安やストレスを感じましたか？【1位~5位・計】

RANK

※仕事の面についてストレスを感じた人ベース



		n=	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位
全体		(179)	2.3	0.8	1.8	0.5	0.5	0.8	0.4	0.8	1.3	1.0	1.7	1.8	0.2	1.0	0.2		
治療内容	治療中	(41)	2.0	1.1	1.9	1.0	0.6	1.1	0.4	0.8	1.5	0.9	1.3	1.5	0.1	0.6	0.1		
	非治療中	(68)	2.0	0.4	1.7	0.3	0.3	0.8	0.3	0.9	1.2	1.1	2.1	2.1	0.2	1.4	0.2		
居住地	首都圏または大阪圏	(93)	2.6	0.6	1.7	0.4	0.5	0.8	0.4	0.8	1.2	0.8	1.8	1.8	0.2	1.1	0.2		
	地方	(86)	1.9	1.0	1.8	0.6	0.5	0.9	0.4	0.8	1.3	1.1	1.6	1.8	0.2	0.9	0.1		
働き方	正規雇用	(105)	2.5	1.0	1.9	0.4	0.8	1.1	0.4	0.4	1.2	0.5	1.8	1.8	0.1	0.9	0.1		
	非正規雇用	(43)	2.2	0.3	1.3	0.5	0.0	0.6	0.2	1.1	1.1	1.2	2.3	2.1	0.5	1.3	0.3		
性別	男性	(120)	2.2	1.1	2.2	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	1.2	0.9	1.4	1.6	0.1	0.9	0.1		
	女性	(59)	2.4	0.2	0.8	0.3	0.4	1.1	0.2	0.8	1.4	1.1	2.3	2.2	0.3	1.1	0.3		
年代別	40歳未満	(16)	2.1	1.5	1.3	0.6	0.9	1.3	0.6	0.7	1.2	0.8	1.6	1.9	0.3	0.4	-		
	40歳-64歳	(123)	2.3	0.7	1.6	0.5	0.5	0.9	0.4	0.8	1.2	1.0	1.8	1.8	0.2	1.0	0.2		
	65歳以上	(40)	2.2	0.9	2.5	0.5	0.2	0.5	0.5	1.0	1.4	1.0	1.6	1.8	0.1	1.0	0.0		

※スコアは右記で算出した平均点：1位（5点）/2位（4点）/3位（3点）/4位（2点）/5位（1点）

# 17 新型コロナウイルスのワクチン接種

Q17 新型コロナ感染症のワクチン接種は行いましたか？

SA

■ 2回接種済み ■ 1回接種済み ■ まだ接種していない ■ その他 ■ 答えたくない／分からない



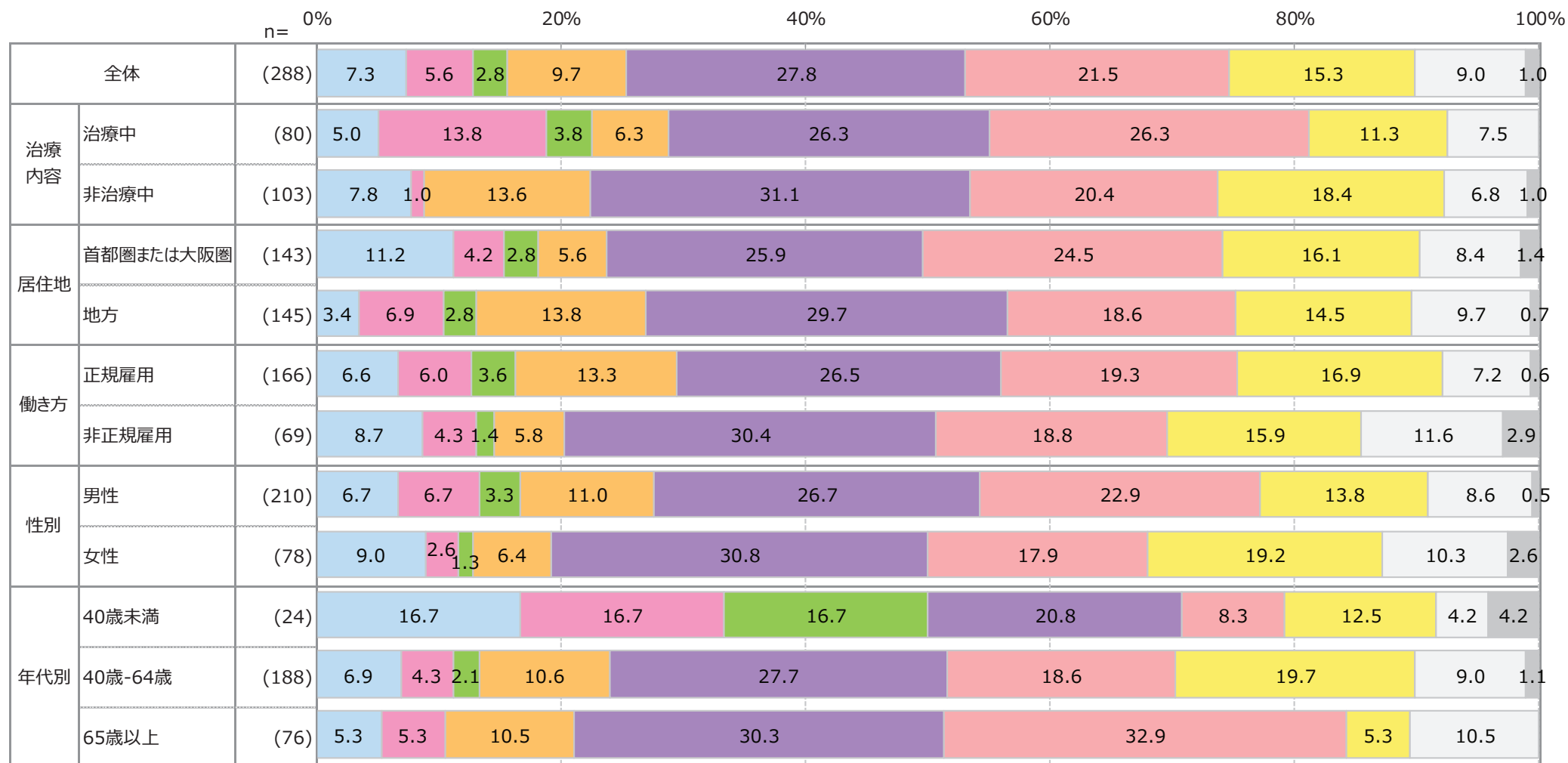
# 18-1 ワクチン接種場所(1回目)

Q18 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を行った場所はどこですか？

SA

※ワクチン1回以上接種者ベース

- 国が主催する大規模接種会場（東京または大阪）
- 大学病院\*
- がんセンター\*
- 総合病院\*
- クリニック・町のお医者さん\*
- その他\*
- 職域接種会場
- その他
- 答えたくない/分からない



\*自治体が主催する集団接種会場

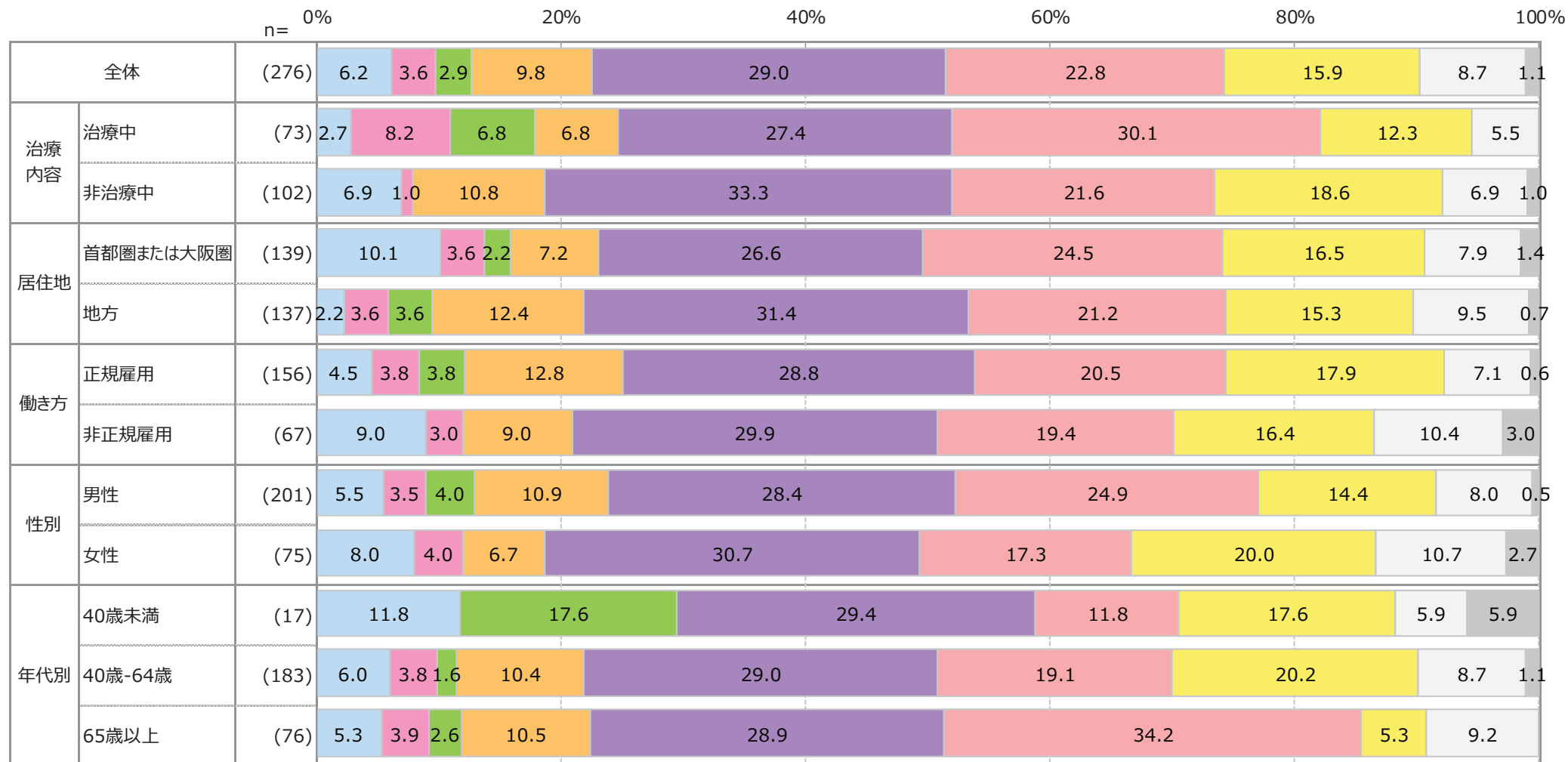
# 18-3 ワクチン接種場所(2回目)

Q18 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を行った場所はどこですか？

SA

※ワクチン2回接種者ベース

- 国が主催する大規模接種会場（東京または大阪）
- 大学病院\*
- がんセンター\*
- 総合病院\*
- クリニック・町のお医者さん\*
- その他\*
- 職域接種会場
- その他
- 答えたくない／分からない



\*自治体が主催する集団接種会場



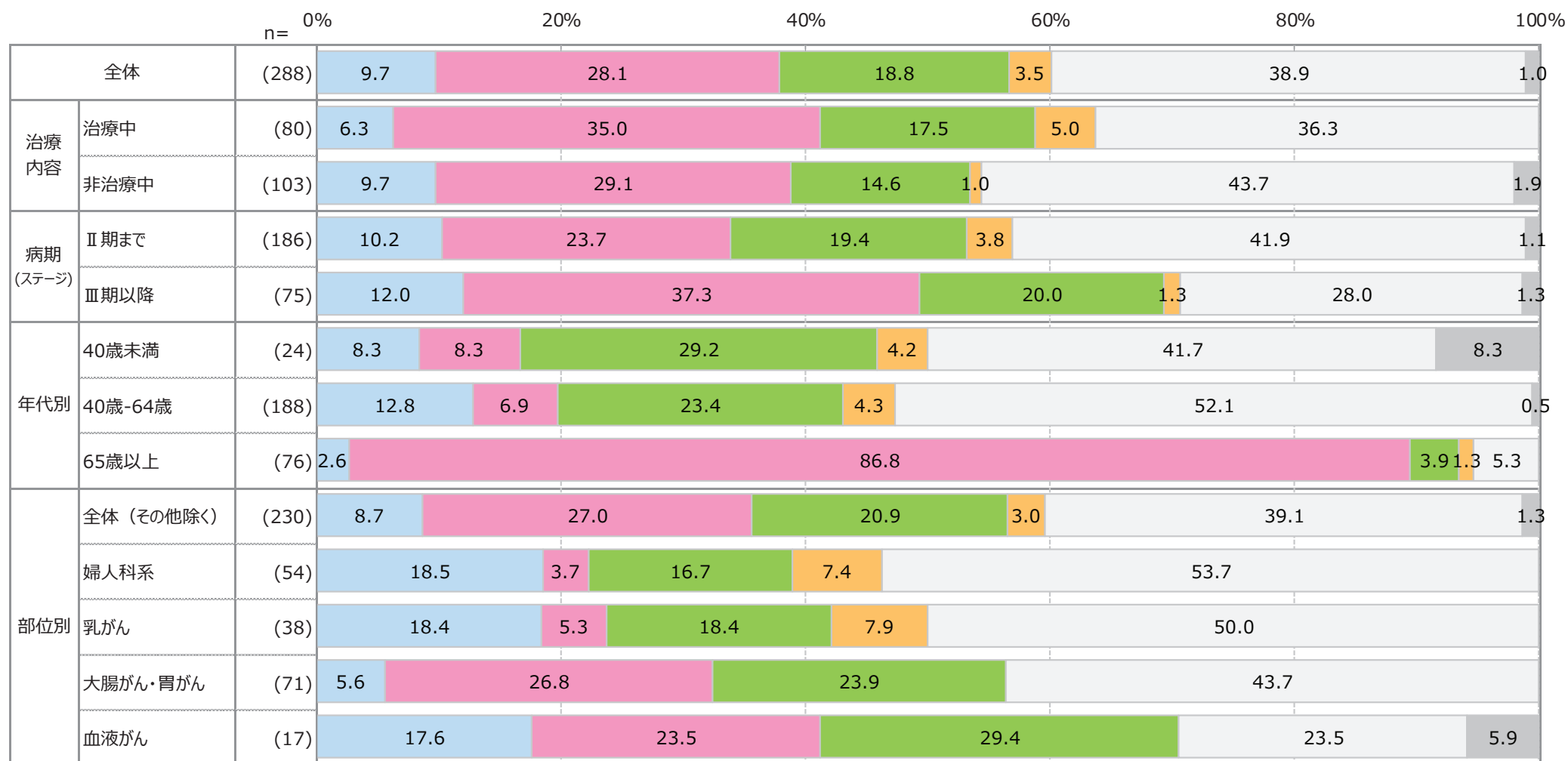
# 19-1 ワクチン接種時の対象種別

Q19 Q17で、2回接種、1回接種とお答えになった方にお聞きます。新型コロナウイルスのワクチン接種はどのような対象者種別で行いましたか？

SA

※ワクチン1回以上接種者ベース

■ 医療従事者\* ■ 高齢者\* ■ 基礎疾患を有する者\* ■ 高齢者施設等の従事者\* □ それ以外（一般の方） ■ 分からない／答えたくない



\*優先枠

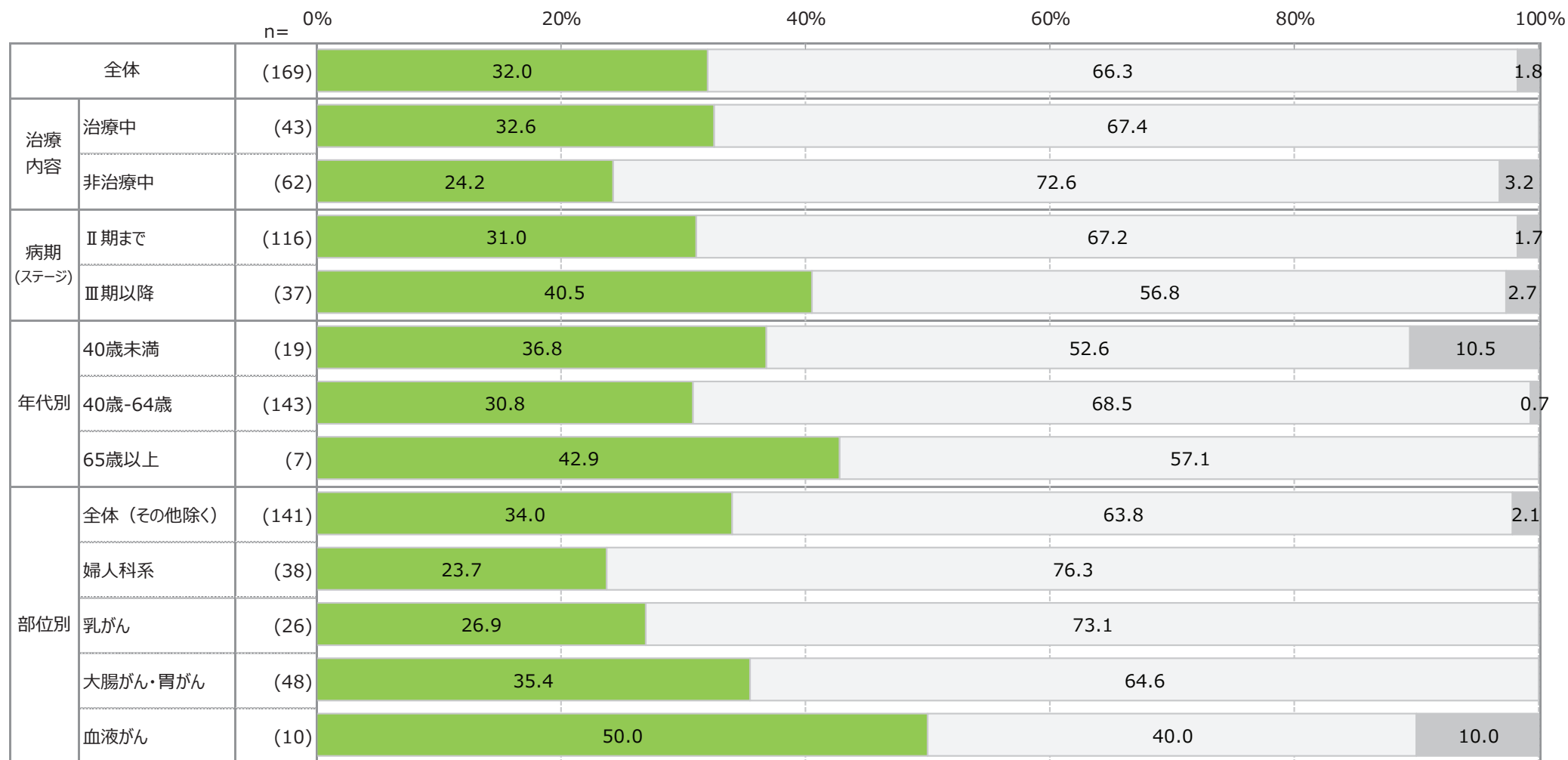
# 19-2 ワクチン接種時の対象種別

Q19 Q17で、2回接種、1回接種とお答えになった方にお聞きます。新型コロナウイルスのワクチン接種はどのような対象者種別で行いましたか？

SA

※ワクチン1回以上接種者ベース  
 ※高齢者・高齢者施設従事者・医療従事者以外ベース

■ 基礎疾患を有する者\*      □ それ以外（一般の方）      ■ 分からない／答えたくない



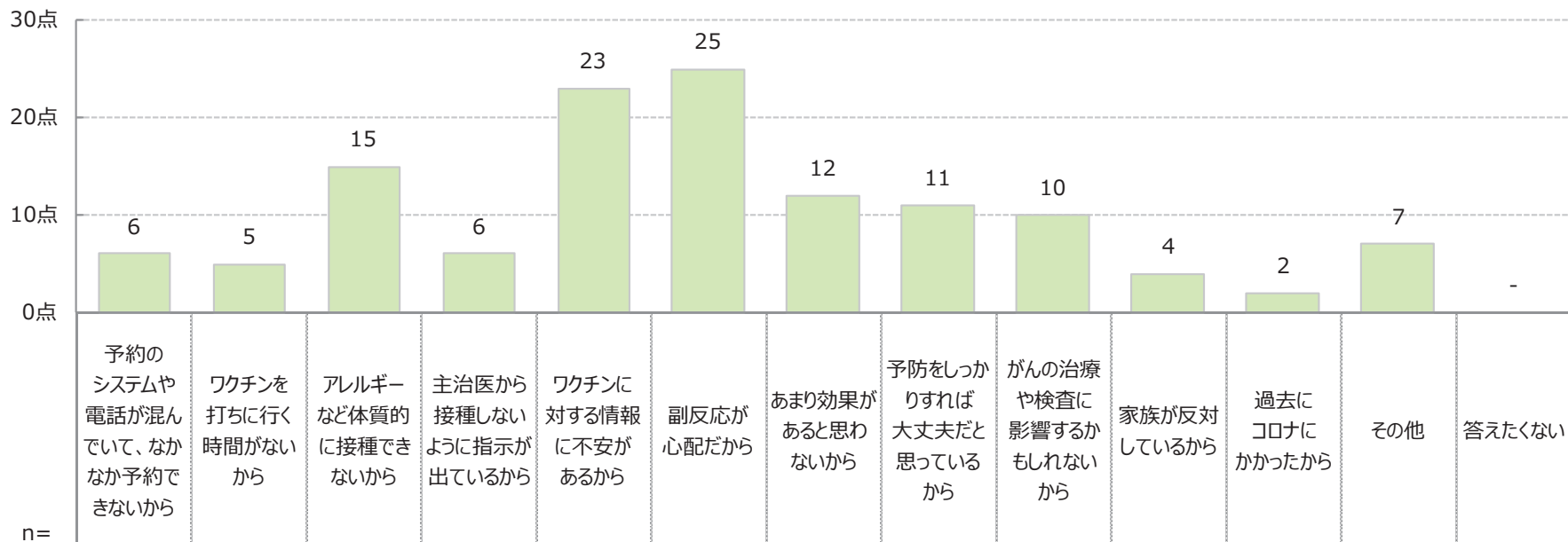
\*優先枠

# 20 ワクチン未接種の理由

Q20 Q17で、未接種とお答えになった方にお聞きします。新型コロナウイルスのワクチン接種をしていない理由は何ですか？【1位~3位・計】

RANK

※ワクチン未接種者ベース



n=		予約のシステムや電話が混んでいて、なかなか予約できないから	ワクチンを打ちに行く時間がないから	アレルギーなど体質的に接種できないから	主治医から接種しないように指示が出ているから	ワクチンに対する情報に不安があるから	副反応が心配だから	あまり効果がないから	予防をしっかりとすれば大丈夫だと思っているから	がんの治療や検査に影響するかもしれないから	家族が反対しているから	過去にコロナにかかったから	その他	答えたくない	
全体	(21)	6	5	15	6	23	25	12	11	10	4	2	7	-	
治療内容	治療中	(8)	6	5	-	6	8	8	1	3	6	-	2	3	-
	非治療中	(10)	-	-	12	-	12	12	11	7	1	4	-	1	-
居住地	首都圏または大阪圏	(8)	-	5	3	6	2	14	4	4	6	-	-	4	-
	地方	(13)	6	-	12	-	21	11	8	7	4	4	2	3	-
性別	男性	(12)	6	5	6	3	9	14	6	7	7	3	2	4	-
	女性	(9)	-	-	9	3	14	11	6	4	3	1	-	3	-
年代別	40歳未満	(4)	3	-	-	3	4	4	-	1	3	-	-	6	-
	40歳-64歳	(16)	3	5	15	3	19	19	12	9	4	4	2	1	-
	65歳以上	(1)	-	-	-	-	-	2	-	1	3	-	-	-	-
部位別	全体（その他除く）	(19)	6	5	15	6	23	20	10	9	7	4	2	7	-
	婦人科系	(7)	-	-	6	-	12	9	5	4	2	1	-	3	-
	乳がん	(3)	-	-	3	-	4	4	2	3	2	-	-	-	-
	大腸がん・胃がん	(3)	3	3	-	5	-	2	1	-	2	-	2	-	-
	血液がん	(2)	-	-	6	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-

※スコアは右記で算出：1位（3点）/2位（2点）/3位（1点）



© Corporate Social Responsibility for Cancer Survivors Recruiting

---